

社会（公民的分野）

東京書籍
教育出版
帝国書院
日本文教出版
自由社
育鵬社

教科・種目名 社会（公民的分野）

採択基準	基本観点	発行者名					
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
1 学習指導要領に示す目標達成のために工夫されていること。	全体としての特徴や創意工夫	教科及び公民的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げている。 単元の導入として、学習内容についての簡潔な記述とその内容を題材にした絵がある。 1時間の学習の流れは、各項目で設定された学習課題について、資料などを活用し、考察することを通して解決し、振り返りができる構成になっている。 また、単元のまとめとして、学習した語句を整理することができる課題を設定し、シンキングツールなどを使って思考を深めるための課題を設定している。 領土問題に関わる我が国の立場について、地図や写真を通して明確にしている。	教科及び公民的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げている。 単元の導入として、資料を通して考える課題を設定している。 1時間の学習の流れは、各項目で設定された学習課題について、考察したことをまとめる課題があり、学習内容の振り返りができる構成になっている。 また、単元のまとめとして、学習した語句を説明したり、さらに調べたりする課題を設定し、シンキングツールなどを使って思考を深めるための課題を設定している。 領土問題に関わる我が国の立場について、地図や写真を通して明確にしている。	教科及び公民的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げている。 単元の導入として、学習内容についての簡潔な記述とその内容を題材にした絵がある。 1時間の学習の流れは、各項目で設定された学習課題の解決に向けて、自ら探究し、振り返りができる構成になっている。 また、単元のまとめとして、学習した基本的な知識を使って、資料を読み取る課題を設定し、シンキングツールなどを使って思考を深めるための課題を設定している。 領土問題に関わる我が国の立場について、地図や写真を通して明確にしている。	教科及び公民的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げている。 単元の導入として、学習内容と日々の生活との関連を考える記述がある。 1時間の学習の流れは、各項目で設定された学習課題を資料や欄外に整理された重要語句についての解説を通して考察し、学習内容の振り返りができる構成になっている。 また、単元のまとめとして、学習内容を自らまとめる課題を設定し、シンキングツールなどを使って思考を深めるための課題を設定している。 領土問題に関わる我が国の立場について、地図や写真を通して明確にしている。	教科及び公民的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げている。 単元の導入として、学習内容についての問題提起がある。 1時間の学習の流れは、各項目で設定された学習課題を解決するために必要な重要語句が豊富にあり、それぞれの語句について、簡潔にまとめている。 また、単元のまとめとして、学習内容を振り返る際、どの項を見るべきかを明確に示している。 領土問題に関わる我が国の立場について、地図や写真を通して明確にしている。	教科及び公民的分野の目標に従い、内容及び内容の取扱いに示す事項を取り上げている。 単元の導入として、資料を通して考える課題を設定している。 1時間の学習の流れは、各項目で設定された学習課題を解決するため、重要事項について考察し、学習の振り返りができる構成になっている。 また、単元のまとめとして、学習した語句をまとめて確認でき、学習を深める発展的な課題も設定している。 領土問題に関わる我が国の立場について、地図や写真を通して明確にしている。
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮	折り合いを付けることに関して、具体的な6事例を取り上げている。 各章末の「学習をまとめよう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。	折り合いを付けることに関して、具体的な4事例を取り上げている。 各章末の「学習のまとめと表現」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。	折り合いを付けることに関して、具体的な6事例を取り上げている。 各章末の「学習を振り返ろう」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。	折り合いを付けることに関して、具体的な4事例を取り上げている。 各章末の「まとめとふり返り」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。	折り合いを付けることに関して、具体的な2事例を取り上げている。 各章末の「学習のまとめと発展」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。	折り合いを付けることに関して、具体的な4事例を取り上げている。 各章末の「学習のまとめ」に課題を設定し、学習内容の定着を図る工夫をしている。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮	現代の社会的事象を多面的・多角的に考察する工夫として、様々な事例を取り上げ、思考ツールなどを用いて考察する展開が設けられている。 思考・判断したことを表現する力を育成する工夫として、学習課題に即して学習内容を振り返り、確認したり、説明したりするコーナーを設定している。 持続可能な開発目標を示し、特設ページを設け、持続可能な社会の形成にむけて、課題探究させるための事例が示されている。	現代の社会的事象を多面的・多角的に考察する工夫として、様々な事例を取り上げ、思考ツールなどを用いて考察する展開が設けられている。 思考・判断したことを表現する力を育成する工夫として、学習課題に即して学習内容を振り返り、確認したり、説明したりするコーナーを設定している。 巻頭で持続可能な開発目標を示し、特設ページを設け、持続可能な社会の形成にむけて、課題探究させるための事例を示している。	現代の社会的事象を多面的・多角的に考察する工夫として、様々な事例を取り上げ、思考ツールなどを用いて考察する展開が設けられている。 思考・判断したことを表現する力を育成する工夫として、学習課題に即して学習内容を振り返り、確認したり、説明したりするコーナーを設定している。 巻頭で持続可能な開発目標を示し、特設ページを設け、持続可能な社会の形成にむけて、課題探究させるための事例を示している。	現代の社会的事象を多面的・多角的に考察する工夫として、様々な事例を取り上げ、思考ツールなどを用いて考察する展開が設けられている。 思考・判断したことを表現する力を育成する工夫として、学習課題に即して学習内容を振り返り、確認したり、説明したりするコーナーを設定している。 巻頭で持続可能な開発目標を示し、関連個所にマークを付けて、関連する情報を示すとともに、特設ページを設け、持続可能な社会の形成にむけて、課題探究させるための事例を示している。	現代の社会的事象を多面的・多角的に考察する工夫として、様々な事例を取り上げ、思考ツールなどを用いて考察する展開が設けられている。 思考・判断したことを表現する力を育成する工夫として、学習課題を設定したり、要点を示したりしている。 持続可能な開発目標を示し、関連する情報を示している。	現代の社会的事象を多面的・多角的に考察する工夫として、様々な事例を取り上げ、思考ツールなどを用いて考察する展開が設けられている。 思考・判断したことを表現する力を育成する工夫として、学習課題に即して学習内容を振り返り、確認したり、説明したりするコーナーを設定している。 巻頭で持続可能な開発目標を示し、巻末で持続可能な社会を目指して取り組まれている事例を示している。

教科・種目名 社会（公民的分野）

採択基準	基本観点	発行者名					
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	別表3				る。		
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表4	生徒が主体的・対話的に学習できるように、「みんなでチャレンジ」や「スキルアップ」で課題を設定している。 また、「もっと知りたい」の様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。	生徒が主体的・対話的に学習できるように、「THINK!」や「TRY!」、「公民の技」で課題を設定している。 また、「公民の窓」の様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。	生徒が主体的・対話的に学習できるように、「アクティブ公民」や「技能をみがく」で課題を設定している。 また、「未来に向けて」の様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。	生徒が主体的・対話的に学習できるように、「アクティビティ」や「チャレンジ公民」で課題を設定している。 また、「公民+α」の様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。	生徒が主体的・対話的に学習できるように、「やってみよう」や「アクティブに深めよう」で課題を設定している。 また、「もっと知りたい」の様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。	生徒が主体的・対話的に学習できるように、「やってみよう」や「try!」、「見方・考え方」で課題を設定している。 また、「学習を深めよう」の様々な題材のコラムで、興味・関心を高めるよう工夫している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表5	学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。 政治や経済の学習において、京都府の事例を1つ取り上げている。(他の学習では1つ)	学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。 政治や経済の学習において、京都府の事例を1つ取り上げている。(他の学習では4つ)	学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。 政治や経済の学習において、京都府の事例を1つ取り上げている。(他の学習では無し)	学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。 政治や経済の学習において、京都府の事例を3つ取り上げている。(他の学習では無し)	学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。	学習指導要領に示していない内容は取り扱っていない。 政治や経済の学習において、京都府の事例を1つ取り上げている。(他の学習では1つ)
	(5) 他の教科等との関連 別表6	巻頭に小学校の学習・地理・歴史的分野との関連を示す資料を掲載している。 また、関連するページに「分野関連マーク」や「二次元コード」を示すなど、効果的に学習できるよう工夫をしている。 他教科などとの関連は、教科関連マークで示している。 特別の教科 道徳との関連については、主として伝統文化とのかかわりに関する内容を取り扱っている。	巻頭に「現代を生きる私たち」の資料を掲載し、「つながり」への気付きを意識しながら学習できる工夫をしている。 他教科などとの関連は、「関連」コーナーを設け、小学校・他分野・他教科の学習を紹介している。	巻頭に「よりよい社会を目指して」として、SDGs との関連を意識した工夫をしている。 他教科などとの関連は、「関連」コーナーを設け、小学校・他分野・他教科・SDGs との関連を紹介している。	巻頭に「持続可能な社会をつくるために」としてSDGs との関連や「地理・歴史とのつながり」を意識しながら学習できる工夫をしている。 また、SDGs との関連を示すページや「二次元コード」を示すなど、効果的に学習できるよう工夫をしている。	各章の中で、多くの人物を紹介し、歴史的分野の学習を振り返りながら学習できる工夫をしている。 巻末に「日本の伝統的工芸品」の資料を掲載し、自分たちの住む町や地域との関連を意識させる工夫をしている。	巻頭巻末ともに「持続可能な社会をめざして」として資料を掲載し、SDGs との関連を意識させる工夫をしている。 他教科などとの関連は、関連するページに「分野関連マーク」を示すことや、「二次元コード」を示すなど、効果的に学習できる工夫をしている。
3 使用上の便宜が工夫されていること。	表記・表現の工夫 別表7	AB判を採用し、カラーユニバーサルデザインへの配慮とユニバーサルデザインフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がなされている。 様々な用語を索引に取り上げ、解説が必要な用語については、巻末にある二次元コードから解説を閲覧できるようし、用語を調べる上での便宜を図っている。 二次元コードにより、デジタル教材を配置している。	AB判を採用し、カラーユニバーサルデザインへの配慮とユニバーサルデザインフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がなされている。 様々な用語を索引に取り上げ、解説が必要な用語については、側注と巻末に解説を掲載し、用語を調べる上での便宜を図っている。 二次元コードにより、デジタル教材を配置している。	AB判を採用し、カラーユニバーサルデザインへの配慮とユニバーサルデザインフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がなされている。 様々な用語を索引に取り上げ、解説が必要な用語については、側注に掲載するものの他に、巻末にある二次元コードから解説を閲覧できるようし、用語を調べる上での便宜を図っている。 二次元コードにより、デジタル教材を配置している。	AB判を採用し、カラーユニバーサルデザインへの配慮とユニバーサルデザインフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がなされている。 様々な用語を索引に取り上げ、解説が必要な用語については、巻末に解説を掲載し、用語を調べる上での便宜を図っている。 二次元コードにより、デジタル教材を配置している。	AB判を採用し、カラーユニバーサルデザインへの配慮とユニバーサルデザインフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がなされている。 様々な用語を索引に取り上げ、解説が必要な用語については、各ページの注記に含む形で掲載し、用語を調べる上での便宜を図っている。 二次元コードの配置はない。	AB判を採用し、カラーユニバーサルデザインへの配慮とユニバーサルデザインフォントの使用により、視覚的な配慮や工夫がなされている。 様々な用語を索引に取り上げ、解説が必要な用語については、巻末に解説を掲載する他に、各ページの関連情報の紹介として掲載し、用語を調べる上での便宜を図っている。 二次元コードにより、デジタル教材を配置している。

教科・種目名 社会（公民的分野） 調査研究事項

別表1

調査項目		発行者名					
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
単元別ページ数（合計ページ数に占める各単元の割合）		◇現代社会と私たち:31 ページ ◇個人の尊重と日本国憲法:37 ページ ◇現代の民主政治と社会:51 ページ ◇私たちの暮らしと経済:51 ページ ◇地球社会と私たち:34 ページ ◇より良い社会を目指して:8 ページ	◇私たちの暮らしと現代社会:26 ページ ◇個人を尊重する日本国憲法:44 ページ ◇私たちの暮らしと民主政治:46 ページ ◇私たちの暮らしと経済:64 ページ ◇国際社会に生きる私たち:36 ページ ◇私たちが未来の社会を築く:9 ページ	◇現代社会:28 ページ ◇政治:86 ページ ◇経済:66 ページ ◇国際:34 ページ ◇課題探究学習:10 ページ	◇私たちと現代社会:30 ページ ◇私たちの生活と政治:88 ページ ◇私たちの生活と経済:58 ページ ◇私たちと国際社会:44 ページ	◇現代日本の自画像:22 ページ ◇個人と社会生活:20 ページ ◇立憲国家と国民:22 ページ ◇日本国憲法と立憲的民主政治:56 ページ ◇国民生活と経済:44 ページ ◇国際社会に生きる日本:42 ページ ◇持続可能な社会を目指して:18 ページ	◇私たちの生活と現代社会:28 ページ ◇私たちの生活と政治:40 ページ ◇私たちの生活と政治:40 ページ ◇私たちの生活と経済:54 ページ ◇私たちと国際社会の課題:43 ページ
全体の構成	単元の導入	<p>単元全体を見通して、小学校の既習事項とつなげるために①小学校の社会で習ったことば、②探究課題の設定、③見通しを持たせる活動という構成になっている。</p> <p>「小学校の社会で習ったことば」では小学校の既習事項とつなげている。</p> <p>「探究活動の設定」では主体的・対話的な学びから生徒自身が課題をつかめるよう、対話の例を示し、単元を貫く問いを設定できるようにしている。</p> <p>「見通しを持たせる活動」では導入の活動とリンクしたまとめの活動で、何ができるようになっていけばよいかを明示し、単元の見通しを持たせる工夫をしている。(2 ページ)</p>	<p>単元全体を見通せるように、①学習のはじめに、②学習の見通しという構成になっている。</p> <p>「学習のはじめ」では単元を貫く問いを設定し、先生と生徒が対話をする様子を通して単元全体の学習内容をつかみ、学習への生徒の興味・関心を喚起することができるように工夫している。また、それを活用して、学習を始める前の自分の考えを整理し、記述する構成になっている。</p> <p>「学習の見通し」では単元を貫く問いにつながるテーマを中単元ごとに設定している。</p> <p>学習を進める際の視点となるキーワードを「見方・考え方」として示している。(2 ページ)</p>	<p>単元全体を見通し、小学校の既習事項とつなげるために、①学習の前に、②章の問いという構成になっている。</p> <p>「学習の前に」では学習する内容について、イラストを見ながら身近な事例と結び付けて概観することができる問題を設定したり、小学校での既習事項とつなげたりしている。</p> <p>「章の問い」では単元を貫く問いにつながる学習課題を明示することで、見通しを持って学習に取り組めるように工夫している。(2 ページ)</p>	<p>単元全体を見通し、単元で学ぶ見方・考え方を捉えるために、①学習のはじめに、②章の問いを立てよう、③学習の見通しをもとうという構成になっている。</p> <p>「学習のはじめに」では章の学習内容と生徒の生活を結ぶ漫画を通して、単元の学習を見通し、単元の見方・考え方を身近な場面に結び付けることができる工夫をしている。</p> <p>「章の問いを立てよう」では出てきた意見や疑問から章で追究する問いを立てられるように工夫している。</p> <p>「学習の見通しをもとう」では章の問いに対する疑問や答えの予想を書き込み、学習の見通しを持てるように工夫している。(2 ページ)</p>	<p>各単元の扉となるページに、単元を貫く問いが学習者に問題提起する形で設定している。(1 ページ)</p> <p>単元全体を見通すために、①学習内容（語句）を示す、②小学校の既習事項とのつながり、③入口という構成になっている。</p> <p>単元の学習内容を象徴する資料に小学校の既習事項をつなげる問いを示している。</p> <p>「入り口」では単元を貫く問いに関わる具体的な課題が設定され、資料を分析したり、調べたりすることを通して自分で考える場面が設定されている。また、各単元の学習の目的を示したり、学習をするための視点や手順を具体的にしたりしている。(3 ページ)</p>	
	1 時間の学習の流れ	<p>①導入資料で追究のきっかけを作る、②学習課題の確認、③本文や資料の活用・分析、④学習内容の振り返りという構成になっている。</p> <p>「みんなでチャレンジ」で、課題の追究を深めるコーナーを設定している。</p> <p>本文と関連する内容や技能を「もっと知りたい」や「スキル・アップ」で取り上げている。</p> <p>振り返りの活動では「チェック</p>	<p>①導入資料で追究のきっかけを作る、②学習課題の確認、③本文や資料の活用・分析、④学習内容の振り返りという構成になっている。</p> <p>導入資料の解説文が「LOOK!」として紹介されている。</p> <p>学習内容に関連するコラム「公民の窓」、思考・判断・表現する力を育む「THINK!」を設定している。</p> <p>小学校・他分野・他教科やSDGsと学習内容を関連付けている。</p>	<p>①導入資料で追究のきっかけを作る、②学習課題の確認、③本文や資料の活用と分析、④学習内容の振り返りという構成になっている。</p> <p>学習内容を深めるために「公民+」、グローバル化・少子高齢化・人権・情報化の視点につなげる「未来に向けて」というコラムを設定している。</p> <p>小学校・地理・歴史と学習内容を関連付けている。</p>	<p>①導入資料で追究のきっかけを作る、②学習課題の確認、③本文や資料の活用・分析、④学習内容の振り返りという構成になっている。</p> <p>学習課題の解決に向けて、「見方・考え方」の例を示したり、問いを設定したりすることで思考の流れに沿った構成である。</p> <p>学習内容を深めるためのコラム「公民+α」を設定したり、「見方・考え方」などを活用し深い学</p>	<p>①導入資料で追究のきっかけを作る、②学習課題の確認、③本文や資料の活用・分析、④学習内容の振り返りという構成になっている。</p> <p>重要語句は、本文中での説明ではなく欄外に詳細な説明をしている。</p> <p>学習内容をより深く理解するためにコラム「ミニ知識」を設定している。</p> <p>「ここがポイント!」として、</p>	

調査項目	発行者名						
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社	
	ク」で基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」で学習の最後に要約や説明といった言語活動を設定している。(2 ページ)	振り返りの活動では、「確認」で基礎的な事項の確認と整理、「表現」では社会的事象や課題などに関わる説明や話し合いなどの表現活動と、段階的に振り返りながら学びを深める工夫をしている。(2 ページ)	振り返りの活動では、「確認しよう」で本文から学習上大切な事項を書きだす作業を通して、読解力を養い、知識の確実な習得をめざし、「説明しよう」で習得した知識を活用して言語活動を行い、思考力・判断力・表現力を育成する工夫をしている。(2 ページ)	びを実現する「アクティビティ」を設定したりしている。 地理や歴史と関連付けたり、学習内容を全体の中に位置付けたりして学習を進めることができるようになっている。 振り返りの活動では「確認」で基礎的・基本的な内容を確認し、「表現」で習得した知識を活用して言語活動を行い、思考力・判断力・表現力を育成する工夫をしている。(2 ページ)	学習内容を 2〜3 項目にまとめている。(2 ページ)	振り返りの活動では「確認」で基礎的・基本的な内容を確認し、「探究」で習得した知識を活用して言語活動を行い、思考力・判断力・表現力を育成する工夫をしている。(2 ページ)	
単元の学習内容の振り返り	①探究ステップの解決、②基礎・基本のまとめ、③まとめの活動の3段階で構成している。 まず、中单元ごとの「探究ステップ」(問い)をまとめる活動を設定し、学習した語句の意味を説明したり、語句を活用して図を作成したりする活動を通して、基礎・基本の習得を確認することができる構成になっている。思考ツールを活用して、思考を整理することで適切に表現する力を身に付ける工夫をしている。 最後に、「探究課題」について、これまでの見方・考え方を活用して考察し、構想することができる構成になっている。(4 ページ)	「学習のまとめと表現」と題して、HOP!とSTEP、JUMP!の3段階で構成されている。 HOP!で、学習した語句の意味を確認したり、語句を活用して説明したりする活動を通して、基礎・基本の習得を確認する活動を設定している。 STEPで、思考ツールなど資料を活用して、自分の考えをまとめたり、他者と意見を交換したりする問題を設定している。 JUMP!で、単元を貫く問いについて、これまでの学習を活用して考察し、構想することができる構成になっている。 最後に、次の単元の見通しを持たせる説明があり、次の単元の準備ができる工夫をしている。(2 ページ)	「学習を振り返ろう」と題して、①知識、②思考力・判断力・表現力をそれぞれ用いた課題を設定している。 知識を問う課題では、学習した語句の意味を確認し、「学習の前に」を活用して振り返る構成になっている。 思考力・判断力・表現力を問う課題では、ステップ1で単元を貫く問いに対する自分の考えを整理し、ステップ2で思考ツールを活用したり、意見交換し、自分の考えを深めたりする工夫をしている。 最後に、「探究学習への準備」で課題探究学習に向けてのテーマを考えられるように工夫している。(4 ページ)	「まとめと振り返り」と題して、①学習内容と語句の整理、②ニュースを「見方・考え方」から見てみよう、③思考ツールを使ってみようで構成している。 学習した内容を語句と図をつなげる課題で確認するように工夫をしている。 学習内容に関わるニュース(新聞記事)を分析する課題を通して、単元で学ぶ見方・考え方を振り返っている。 シンキングツールを活用して多面的に見たり、構造化したりする問いを通して、学習内容を振り返る問いを設定している。(2 ページ)	「学習のまとめと発展」と題して、①学習のまとめ、②学習の発展の2段階で構成している。 「学習のまとめ」は各単元の最重要語句について、○△といった記号を用いて、自分の理解度を整理し、その語句の意味について100字や200字でまとめる、理解が十分でない語句については学習課題や「ここがポイント」、本文で振り返り、200字でまとめる活動を設定している。 「学習の発展」では、学習内容を発展させるために、課題を400字でまとめる活動を設定している。(1 ページ)	「これから」「学習のまとめ」と題して、①単元の振り返り、②知識の定着や言語活動に関わる取組の2段階で構成している。 「これから」では、「入り口」で示された単元を貫く内容を受けて、学習内容を生かして取り組む課題を設定している。 「学習のまとめ」では、重要語句の確認や基礎的・基本的な知識の定着と、言語活動を行うための課題を掲載して、思考力・判断力・表現力を伸ばす工夫をしている。(3 ページ)	
・本文中で取り上げられている事例 ・特徴と創意工夫	私たちと現代社会 ア 私たちが生きる現代社会と文化の特色 イ 現代社会を捉える枠組み	◇現代社会の特色と私たち ◆持続可能性◆東日本大震災◆持続可能な社会◆社会参画◆グローバル化◆国際競争◆国際分業◆国際協力◆新型コロナウイルス感染症◆SDGs◆情報化◆人工知能(AI)◆メディアリテラシー◆情報モラル◆少子高齢化◆少子化◆合計特殊出生率◆平均寿命◆高齢化◆人口減少◆核家族世帯 ◇私たちの生活と文化 ◆文化◆科学◆宗教◆芸術◆	◇私たちが生きる現代社会 ◆インターネット◆グローバル化◆国際分業◆情報通信技術(ICT)◆情報化◆人工知能(AI)◆SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)◆少子化◆高齢化◆少子高齢化◆核家族 ◇現代につながる伝統と文化 ◆科学◆技術革新◆宗教◆芸術◆文化◆伝統文化 ◇私たちがつくるこれからの社会	◇現代社会の特色 ◆持続可能な社会◆SDGs◆社会参画◆情報通信技術(ICT)◆情報社会◆情報化◆個人情報◆ビッグデータ◆人工知能(AI)◆情報リテラシー◆グローバル化◆国際分業◆国際競争◆国際協調◆多文化共生◆少子高齢社会◆少子高齢化◆核家族◆バリアフリー化◆人口減少 ◇私たちの生活と文化 ◆文化◆科学◆芸術◆宗教◆	◇私たちが生きる現代社会の特色 ◆少子高齢化◆少子高齢社会◆介護◆出産◆育児◆情報通信技術(ICT)◆情報化◆人工知能(AI)◆SNS◆情報リテラシー◆情報モラル◆グローバル化◆国際的な分業◆多文化共生◆国際協力◆持続可能な社会◆大量消費社会◆持続可能な開発目標(SDGs)◆社会参画 ◇現代社会の文化と私たち ◆文化◆科学◆芸術◆宗教◆	◇現代日本の自画像 ◆グローバル化◆環境破壊◆地球温暖化◆ナショナリズム◆情報化◆情報社会◆ICT◆AI◆情報セキュリティ◆情報リテラシー◆少子高齢社会◆少子高齢化◆人口減少社会◆家族◆地域社会◆海洋国家◆排他的経済水域◆主要国首脳会議(サミット)◆日本型食生活◆クールジャパン(カッコいい日本)戦略◆文化◆伝統文化◆異文化◆和の精神◆ものづく	◇私から見える現代の日本社会 ◆グローバル化◆国際分業◆貿易の自由化◆国際競争◆多国籍企業◆非政府組織(NGO)◆非営利団体(NPO)◆情報◆情報通信技術(ICT)◆情報化◆人工知能(AI)◆情報モラル◆情報リテラシー◆少子高齢社会◆人口減少社会◆少子高齢化◆バリアフリー ◇現代社会の文化と私たちの生活 ◆伝統◆文化◆科学技術◆芸

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	<p>伝統文化◆琉球文化◆アイヌ文化◆文化財保護法◆ユニバーサルデザイン◆多文化共生</p> <p>◇現代社会の見方や考え方</p> <p>◆社会集団◆家族◆地域社会◆社会的存在◆対立◆合意◆決まり◆契約◆権利◆責任◆義務◆全会一致◆多数決◆少数意見の尊重◆効率◆公正◆共生社会</p>	<p>◆社会集団◆家族◆地域社会◆社会的存在◆対立◆合意◆ルール◆契約◆効率◆公正◆個人の尊重◆責任◆義務</p>	<p>文化の画一化◆異文化理解◆年中行事◆琉球文化◆アイヌ文化◆伝統文化</p> <p>◇現代社会をとらえる枠組み</p> <p>◆社会集団◆社会的存在◆家族◆地域社会◆個人の尊厳◆両性の本質的平等◆対立◆合意◆効率◆手続きの公正さ◆機会の公正さ◆結果の公正さ◆契約◆きまり◆責任◆義務◆権利◆利益</p>	<p>多様性◆年中行事◆伝統文化</p> <p>◇現代社会の見方・考え方</p> <p>◆地域社会◆社会集団◆社会的存在◆家族◆核家族◆両性の本質的平等◆きまり（ルール）◆個人の尊重◆対立◆合意◆話し合い◆多数決◆効率◆公正◆責任◆権利◆義務◆契約</p>	<p>り◆自然との共存</p> <p>◇家族の中で育つ私たち</p> <p>◆家族◆家計◆大家族◆核家族◆民法◆親権◆男女共同参画社会◆地域社会◆職住分離◆伝統行事◆少子高齢社会◆地域コミュニティ◆公共の精神◆国家◆愛国心◆自己愛◆愛郷心◆国際社会◆「国民の、国民による、国民のための政治」◆国民◆国民主権◆政治に参加する立場◆政治から利益を受ける立場◆自主独立の立場</p> <p>◇社会の中の決まり</p> <p>◆家族◆学校◆共同社会◆利益社会◆決まり◆対立◆合意◆効率◆公正◆全会一致◆多数決◆少数意見の尊重◆権利◆義務◆責任</p>	<p>術◆宗教◆伝統文化◆年中行事◆文化の多様性◆異文化理解◆多文化共生社会◆地産地消◆食育◆伝統文化</p> <p>◇現代社会をとらえる見方や考え方</p> <p>◆家族◆社会集団◆社会的存在◆核家族◆地域社会（地域コミュニティ）◆過疎化◆コミュニティ◆公共の精神◆郷土◆郷土愛◆対立◆合意◆効率◆公正◆手続きの公正◆機会の公正◆結果の公正◆ルール（きまり）◆契約◆責任◆義務</p>
<p>私たちと経済</p> <p>ア 市場の働きと経済</p> <p>イ 国民の生活と政府の役割</p>	<p>◇消費生活と経済</p> <p>◆財◆サービス◆経済◆家計◆消費支出◆貯蓄◆希少性◆選択◆消費者◆消費者主権◆契約◆契約自由の原則◆消費者問題◆消費者の権利◆クーリング・オフ◆製造物責任法（PL法）◆消費者契約法◆消費者基本法◆自立した消費者◆流通◆商業◆流通の合理化</p> <p>◇生産と労働</p> <p>◆分業◆交換◆企業◆利潤◆資本◆資本主義経済◆技術革新（イノベーション）◆知的資源◆私企業◆公企業◆大企業◆中小企業◆起業◆企業の社会的責任（CSR）◆株式会社◆株式◆株主◆株主総会◆配当◆証券取引所◆株価◆労働組合◆労働基準法◆労働組合法◆労働関係調整法◆非正規労働者◆外国人労働者◆ワーク・ライフ・バランス</p> <p>◇市場経済の仕組みと金融</p> <p>◆市場◆市場経済◆価格◆需</p>	<p>◇消費生活と経済活動</p> <p>◆消費◆所得◆財やサービス◆家計◆選択◆貯蓄◆電子マネー◆分業◆交換◆信用◆消費者保護基本法◆消費者基本法◆製造物責任法（PL法）◆クーリング・オフ制度◆消費者契約法◆契約◆流通業◆小売業◆卸売業◆商業</p> <p>◇企業の生産のしくみと労働</p> <p>◆生産◆企業◆起業◆資本◆土地◆労働力◆利益（利潤）◆資本主義経済◆私企業◆公企業◆個人企業◆会社企業◆株式会社◆組合企業◆独立行政法人◆中小企業◆株式会社◆株式◆株主◆株主総会◆配当◆投資◆会計◆企業の社会的責任（CSR）◆労働◆労働契約◆労働基準法◆非正規労働者◆労働組合◆労働組合法◆労働関係調整法◆終身雇用◆年功序列賃金◆能力給◆格差◆ワーク・ライフ・バランス◆外国人労働者◆技術革新</p>	<p>◇経済のしくみと消費</p> <p>◆消費◆経済活動◆分業◆交換◆選択◆資源◆希少性◆資源の効率的な配分◆家計◆消費者◆所得◆貯蓄◆クレジットカード◆キャッシュレス決済◆流通◆商業◆卸売業◆小売業◆流通の合理化◆通信販売◆広告◆契約◆契約自由の原則◆消費者基本法◆クーリング・オフ◆製造物責任法（PL法）◆消費者契約法◆消費者庁</p> <p>◇企業と生産</p> <p>◆企業◆技術革新◆土地◆労働力◆資本◆利潤◆起業◆私企業◆公企業◆大企業◆中小企業◆ベンチャー企業◆株式◆株式会社◆株主◆株主総会◆配当◆有限責任◆競争◆独占◆寡占◆独占禁止法◆公正取引委員会◆労働基準法◆労働組合◆労働組合法◆労働関係調整法◆男女雇用機会均等法◆外国人労働者◆終身雇用◆年功序列型◆成果主義◆非</p>	<p>◇経済のしくみと消費生活</p> <p>◆選択◆希少性◆経済◆分業◆交換◆貨幣◆消費◆財◆サービス◆家計◆所得◆税金◆消費支出◆貯蓄◆キャッシュレス決済◆契約◆消費者基本法◆製造物責任法（PL法）◆小売業◆流通◆商業◆ビッグデータ◆価格◆需要量◆供給量◆市場価格◆均衡価格◆市場経済</p> <p>◇生産の場としての企業</p> <p>◆企業◆生産◆利潤◆私企業◆公企業◆自然◆資本財◆労働力◆知的資源◆技術革新◆資本◆株式会社◆株式◆株主◆配当◆企業の社会的責任（CSR）◆資本主義経済◆競争◆起業◆独占◆独占価格◆独占禁止法◆公正取引委員会◆公共料金◆輸入◆輸出◆貿易◆自由貿易◆TPP11協定◆景気◆好景気◆不景気◆インフレーション◆デフレーション◆労働基準法◆労働組合◆終身</p>	<p>◇豊かさを生む経済の仕組み</p> <p>◆経済活動◆経済財◆有形財◆サービス◆私的財◆公共財◆労働◆生産性◆経済成長◆分業◆職業◆使用価値◆交換価値◆貨幣◆価格◆需要◆供給◆均衡価格◆市場◆自由競争◆計画経済◆市場経済◆外部効果◆独占◆独占価格◆寡占◆独占禁止法◆公正取引委員会◆公共財◆公共料金◆市場経済◆家計◆企業◆資本◆起業◆株式会社◆株主◆商品◆配当◆流通◆商業◆銀行◆企業◆貯蓄◆金融◆輸出◆輸入◆貿易◆通貨◆為替相場◆円高◆円安</p> <p>◇政府の経済活動</p> <p>◆経済活動◆税金◆財政◆公共財◆所得の再配分◆財政投融资◆市場経済◆好景気（好況）◆物価◆インフレーション（インフレ）◆不景気（不況）◆デフレーション（デフレ）◆景気変動◆日本銀行（日銀）◆</p>	<p>◇消費と生活</p> <p>◆交換（交易）◆分業◆お金（貨幣）◆財◆サービス◆消費者◆消費◆生産者◆生産◆経済◆経済活動◆交換◆資源◆希少性◆選択◆家計◆所得◆選択◆勤労所得◆事業所得◆財産所得◆貯蓄◆消費者主権◆消費者運動◆消費者保護基本法◆消費者庁◆小売店◆流通◆商業◆流通の合理化</p> <p>◇生産と労働</p> <p>◆企業◆土地◆資本◆労働力◆生産要素◆生産◆公企業◆私企業◆個人企業◆法人企業◆公私合同企業◆経済のサービス化・ソフト化◆資本主義経済（自由主義経済）◆社会的責任（CSR）◆利潤◆競争◆技術革新◆寡占◆独占◆独占禁止法◆公正取引委員会◆公共料金◆株式会社◆株式◆株主◆経営者◆企業会計◆終身雇用制◆外国人労働者◆女性活躍推進法◆ワーク・ライフ・ balan</p>

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	<p>要量◆供給量◆均衡価格◆市場価格◆独占◆寡占◆独占(寡占) 価格◆独占禁止法◆公正取引委員会◆公共料金◆貨幣・通貨◆金融◆直接金融◆間接金融◆銀行◆預金◆利子◆金利◆為替◆現金通貨◆預金通貨◆中央銀行◆日本銀行◆発券銀行◆政府の銀行◆銀行の銀行◆景気◆好景気(好況)◆不景気(不況)◆景気変動◆物価◆インフレーション◆デフレーション◆経済成長◆金融政策◆貿易◆産業の空洞化◆為替相場◆円高◆円安◆多国籍企業◆ESG投資</p> <p>◇財政と国民の福祉 ◆財政◆税金◆予算◆国税◆地方税◆直接税◆消費税◆間接税◆累進課税◆社会資本◆公共サービス◆財政政策◆公共投資◆国債◆地方債◆公債◆社会保障◆社会保険◆公的扶助◆社会福祉◆公衆衛生◆介護保険制度</p> <p>◇これからの経済と社会 ◆公害◆住民運動◆環境基本法◆省資源・省エネルギー◆リデュース◆リユース◆リサイクル◆5R◆循環型社会◆国内総生産(GDP)◆脱炭素化◆地域経済◆コンパクトシティ</p>	<p>◇市場のしくみとはたらき ◆価格◆需要曲線◆供給曲線◆需要量◆供給量◆均衡価格◆市場価格◆市場メカニズム◆市場経済◆効率性◆競争◆独占禁止法◆公正取引委員会◆公共料金</p> <p>◇金融のしくみと財政の役割 ◆金融◆銀行◆金融機関◆預金◆利子◆融資◆決済◆中央銀行◆日本銀行◆発券銀行◆銀行の銀行◆政府の銀行◆間接金融◆直接金融◆株式市場◆株価◆財政◆社会資本◆公共サービス◆資源配分◆所得の再分配◆好況(好景気)◆不況(不景気)◆景気循環◆財政政策◆経済の安定化◆消費税◆税金(租税)◆財源◆国税◆地方税◆直接税◆間接税◆累進課税◆逆進性◆予算◆歳入◆歳出◆地方交付税◆国庫支出金◆国債◆地方債◆公債◆国内総生産(GDP)◆経済成長◆好況◆失業◆不況◆インフレーション(インフレ)◆デフレーション(デフレ)◆公開市場操作◆金融政策◆財政政策◆経済政策</p> <p>◇暮らしを支える社会保障 ◆失業◆社会保障制度◆社会保険◆公的扶助◆社会福祉◆公衆衛生◆少子高齢社会◆介護◆社会資本◆公共事業◆バリアフリー◆ユニバーサルデザイン</p> <p>◇これからの日本経済の課題 ◆公害◆公害対策基本法◆汚染者負担の原則(PPP)◆環境基本法◆循環型社会◆多国籍企業◆産業の空洞化◆六次産業化</p>	<p>正規雇用◆ワーク・ライフ・バランス◆育児・介護休業法◆社会的責任(CSR)</p> <p>◇市場経済と金融のしくみ ◆市場◆市場経済◆価格◆需要量◆供給量◆均衡価格◆市場価格◆独占価格◆寡占価格◆公共料金◆貨幣◆現金通貨◆預金通貨◆デジタル通貨◆金融◆銀行◆金融機関◆間接金融◆直接金融◆利子(利息)◆ESG投資◆フィンテック◆中央銀行◆日本銀行◆発券銀行◆政府の銀行◆銀行の銀行◆金融政策</p> <p>◇財政と私たち ◆社会資本◆税金◆公共サービス◆政府◆財政◆財政政策◆公共事業◆歳出◆歳入◆国債◆税金◆消費税◆直接税◆間接税◆累進課税◆納税者◆社会資本◆公害◆環境基本法◆循環経済(サーキュラーエコノミー)◆社会保障◆社会保険◆公衆衛生◆社会福祉◆公的扶助◆社会保障・税番号(マイナンバー)制度◆財政赤字◆国債◆大きな政府◆小さな政府◆受益◆負担</p> <p>◇日本経済の課題とこれから ◆好況(好景気)◆不況(不景気)◆景気変動◆失業者◆国内総生産(GDP)◆経済成長◆インフレーション◆デフレーション◆為替レート◆円高◆円安◆多国籍企業◆空洞化◆グローバル化◆デジタル化◆労働生産性◆格差の固定化</p>	<p>雇用◆年功序列◆成果主義◆外国人労働者◆非正規雇用◆セクシュアルハラスメント◆ワーク・ライフ・バランス</p> <p>◇金融のしくみとお金の大切さ ◆金融◆利子◆銀行◆金融機関◆間接金融◆直接金融◆中央銀行◆日本銀行◆発券銀行◆銀行の銀行◆政府の銀行◆金融政策◆外国為替相場◆円高◆円安</p> <p>◇国民の生活と政府の役割 ◆財政◆社会資本◆公共サービス◆社会保障◆財政政策◆歳入◆国債◆歳出◆公害◆環境基本法◆税◆直接税◆消費税◆間接税◆国税◆地方税◆累進課税◆国債◆社会保障◆社会保険◆公的扶助◆社会福祉◆公衆衛生◆年金</p>	<p>税金◆直接税◆間接税◆国税◆地方税◆財政◆所得の再配分◆累進課税</p> <p>◇幸せな経済生活 ◆企業◆労働者◆職業◆分業◆ワーク・ライフ・バランス◆ハローワーク◆労働基準法◆団結権◆団体交渉権◆団体行動権◆争議権◆働き方改革◆時間外労働◆インターバル制度◆同一労働同一賃金◆非正規労働者◆消費者◆商品◆消費生活◆製造物責任法(PL法)◆クーリング・オフ◆消費者基本法◆消費団体訴訟制度◆社会保障制度◆社会保険◆少子高齢化◆年金◆社会資本◆自然環境保護◆文化財・文化遺産◆税金◆公共事業◆外部効果◆環境破壊◆環境基本法◆環境保全◆資源循環型の社会</p>	<p>ス◆労働組合◆労働基準法</p> <p>◇市場経済と金融 ◆市場◆市場経済◆価格◆貨幣◆市場価格◆需要量◆供給量◆均衡価格◆金融◆直接金融◆間接金融◆金融機関◆銀行◆貸付◆預金◆為替◆利子◆貨幣◆中央銀行◆日本銀行◆発券銀行◆銀行の銀行◆政府の銀行◆物価◆金融政策◆最後の貸し手◆為替◆円高◆円安◆産業の空洞化</p> <p>◇政府の役割と国民の福祉 ◆財政◆公共財◆社会資本◆税金◆累進課税◆所得の再配分◆直接税◆消費税◆間接税◆公債◆国債◆地方債◆好景気(好況)◆不景気(不況)◆デフレーション◆インフレーション◆財政政策◆公共投資◆金融政策◆金融・経済の安定化◆高度経済成長◆社会保障◆社会保険◆公的扶助◆社会福祉◆公衆衛生◆介護保険◆少子高齢社会◆自助◆共助◆公助◆公害問題◆環境基本法◆循環型社会形成推進基本法◆循環型社会◆環境立国</p>
私たちと政治 ア 人間の 尊重と日本	<p>◇人権と日本国憲法 ◆人権(基本的人権)◆自由権◆平等権◆社会権◆法の支配</p>	<p>◇日本国憲法の成り立ちと国民主権 ◆人権◆専制政治◆世界人権</p>	<p>◇民主主義と日本国憲法 ◆権力◆国家権力◆多数決◆民主主義◆民主政治◆憲法◆</p>	<p>◇法に基づく政治と日本国憲法政治 ◆政治◆政治権力◆民主主義</p>	<p>◇世界の立憲的民主政治 ◆国家◆農業◆防衛◆社会資本◆社会秩序◆政治権力◆国</p>	<p>◇日本国憲法の基本原則 ◆社会◆秩序◆政治◆法◆法治主義◆法治国家◆憲法◆立</p>

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
国憲法の基本原則 イ 民主政治と政治参加	◆憲法◆大日本帝国憲法◆日本国憲法◆国民主権◆基本的人権の尊重◆平和主義◆三権分立◆国民主権◆憲法改正の発議◆国民投票◆天皇◆象徴◆国事行為◆平和主義◆自衛隊◆日米安全保障条約（日米安保条約）◆PKO◆核兵器◆非核三原則◆基本的人権◆個人の尊重◆法の下の平等◆子ども（児童）の権利条約◆部落差別解消推進法◆アイヌ民族支援法◆先住民族◆男女雇用機会均等法◆男女共同参画社会基本法◆性の多様性◆インクルージョン◆バリアフリー◆障害者基本法◆自由権◆精神の自由◆身体の自由◆経済活動の自由◆社会権◆生存権◆生活保護法◆教育を受ける権利◆教育基本法◆勤労の権利◆労働基本権◆団結権◆団体交渉権◆団体行動権◆参政権◆選挙権◆被選挙権◆裁判を受ける権利◆公共の福祉◆普通教育を受けさせる義務◆勤労の義務◆納税の義務 ◇これからの人権保障 ◆環境権◆環境アセスメント◆自己決定権◆知る権利◆情報公開制度◆マスメディア◆プライバシーの権利◆個人情報保護制度◆世界人権宣言◆国際人権規約◆NGO ◇現代の民主政治 ◆政治◆民主主義◆直接民主制◆間接民主制◆議会制民主主義◆多数決の原理◆少数意見の尊重◆政治参加◆選挙◆公職選挙法◆普通選挙◆平等選挙◆直接選挙◆秘密選挙◆小選挙区制◆比例代表制◆小選挙区比例代表並立制◆政党◆政党政治◆与党◆野党◆連立政権◆政権公約◆世論◆マ	宣言◆大日本帝国憲法◆憲法◆法◆権力分立◆立憲主義◆最高法規◆法の支配◆日本国憲法◆国民主権◆基本的人権の尊重◆平和主義◆国民主権◆憲法改正◆国民投票◆象徴◆天皇制◆国事行為◆生命◆個人の尊重◆幸福追求権◆法の下での平等◆平等権◆同和対策審議会の答申◆アイヌ文化振興法◆アイヌ施策推進法◆両性の本質的平等◆女子差別撤廃条約◆男女雇用機会均等法◆男女共同参画社会基本法◆女性活躍推進法◆障害者基本法◆障害者差別解消法◆合理的配慮◆精神活動の自由◆身体の自由◆経済活動の自由◆自由権◆政教分離◆身体の自由◆冤罪◆経済活動の自由◆社会権◆生存権◆介護保険制度◆教育を受ける権利◆生涯学習◆勤労の権利◆労働基準法◆団結権◆団体交渉権◆団体行動権◆労働基本権（労働三権）◆労働三法◆参政権◆選挙権◆被選挙権◆請願権◆請求権◆公共の福祉◆普通教育を受けさせる義務◆勤労の義務◆納税の義務◆環境権◆知る権利◆情報公開制度◆プライバシーの権利◆個人情報保護法◆自己決定権◆世界人権宣言◆国際人権規約◆NGO（非政府組織）◆子どもの権利条約（児童の権利に関する条約） ◇私たちと平和主義 ◆平和主義◆自衛隊◆日米安全保障条約◆国際平和協力法（PKO 協力法） ◇民主政治と日本の政治 ◆民主主義◆政治◆民主政治◆独裁政治◆直接民主制◆間接民主制◆議会制（代議制）民主主義◆多数決◆選挙◆普通	立憲主義◆人権（基本的人権）◆世界人権宣言◆国際人権規約◆児童（子ども）の権利に関する条約◆法の支配◆大日本帝国憲法◆日本国憲法◆国民主権◆平和主義◆基本的人権の尊重◆主権◆国民主権◆天皇◆象徴◆国事行為◆平和主義◆非核三原則◆自衛隊◆集団的自衛権◆日米安全保障条約 ◇基本的人権の尊重 ◆個人の尊重◆法の下に平等◆自由権◆精神活動の自由◆経済活動の自由◆生命・身体の自由◆平等権◆全国水平社◆部落差別解消推進法◆ジェンダー◆男女共同参画社会基本法◆男女雇用機会均等法◆アイヌ文化振興法◆アイヌ施策推進法◆在日韓国・朝鮮人◆ヘイトスピーチ解消法◆ダイバーシティ◆インクルージョン◆バリアフリー化◆障害者差別解消法◆社会権◆生存権◆生活保護◆教育を受ける権利◆勤労の権利◆団結権◆団体交渉権◆団体行動権◆労働基本権（労働三権）◆選挙権◆被選挙権◆参政権◆公務請求権◆請願権◆国家賠償請求権◆裁判を受ける権利◆子どもの人権◆幸福追求の権利◆環境基本法◆環境権◆日照権◆自己決定権◆プライバシーの権利◆個人情報保護法◆知る権利◆情報公開法◆公共の福祉◆普通教育を受けさせる義務◆勤労の義務◆納税の義務 ◇法の支配を支えるしくみ ◆権力分立◆三権分立◆立法◆行政◆司法◆国民審査◆最高法規◆憲法保障◆違憲審査◆最高裁判所◆憲法の番人◆憲法改正◆国民投票	◆多数決◆少数意見の尊重◆憲法◆立憲主義◆最高法規◆立憲主義の憲法◆個人の尊重◆基本的人権◆法の支配◆権力分立◆大日本帝国憲法◆日本国憲法◆国民主権◆基本的人権の尊重◆平和主義◆国民主権◆議会制民主主義◆憲法改正◆国民投票◆天皇◆国事行為◆基本的人権（人権）◆個人の尊重◆自由権◆社会権◆精神の自由◆表現の自由◆生命・身体の自由◆経済活動の自由◆平等権◆法の下での平等◆部落差別◆アイヌ民族◆アイヌ施策推進法◆男女雇用機会均等法◆男女共同参画社会基本法◆障害者差別解消法◆バリアフリー◆社会権◆生存権◆教育を受ける権利◆勤労の権利◆労働基準法◆団結権◆団体交渉権◆団体行動権◆争議権◆労働基本権（労働三権）◆参政権◆選挙権◆被選挙権◆請願権◆裁判を受ける権利◆新しい人権◆知る権利◆情報公開制度◆プライバシーの権利◆個人情報保護制度◆環境権◆自己決定権◆世界人権宣言◆国際人権規約◆子ども（児童）の権利条約◆NGO◆公共の福祉◆普通教育を受けさせる義務◆勤労の義務◆納税の義務 ◇日本の平和主義 ◆平和主義◆自衛隊◆自衛権◆日米安全保障条約◆集団的自衛権◆平和維持活動（PKO） ◇民主政治と政治参加 ◆政治◆権力分立◆民主主義◆直接民主制◆間接民主制◆少数意見の尊重◆直接選挙◆普通選挙◆秘密選挙◆平等選挙◆小選挙区制◆比例代表制◆小選挙区比例代表並立制◆一	際法◆国民国家◆基本的人権◆立憲主義◆法治主義◆抑制と均衡◆権力分立◆憲法◆権利章典◆名誉革命◆独立宣言◆フランス革命◆『人権宣言』◆ワイマール憲法◆『世界人権宣言』◆直接民主主義◆代表◆間接民主主義◆政党◆多数決 ◇日本の立憲的民主政治 ◆五箇条の御誓文◆大日本帝国憲法◆統治権◆立憲政体◆立憲君主制◆憲政の常道◆ポツダム宣言◆憲法改正◆大日本帝国憲法◆事前検閲◆日本国憲法◆国民主権◆基本的人権の尊重◆平和主義◆象徴◆天皇◆法治主義◆閣議民主主義◆議会制民主主義◆三権分立◆立憲主義◆最高法規◆国民投票◆自衛戦力◆二院制問題◆首相公選制◆新しい権利 ◇日本国憲法の国家像 ◆天皇◆正統性◆日本国憲法◆象徴◆国民主権◆立憲君主制◆基本的人権◆個人の尊重◆公共の福祉◆普通教育を受けさせる義務◆勤労の義務◆納税の義務◆専制政治◆自由権◆身体の自由◆罪刑法定主義◆精神の自由◆表現の自由◆経済活動の自由◆職業の自由◆居住及び移転の自由◆財産権◆私有財産制◆権利の平等◆機会の平等◆結果の平等◆社会権◆生存権◆教育を受ける権利◆勤労の権利◆労働基本権◆選挙権◆普通選挙◆被選挙権◆請願権◆参政権◆裁判を受ける権利◆損害賠償請求権◆刑事補償請求権◆請求権◆自衛権◆平和主義◆戦力の不保持◆自衛隊◆専守防衛 ◇議会制民主政治 ◆議会制民主主義◆立法権◆	憲主義◆日本国憲法◆国民主権◆平和主義◆基本的人権の尊重◆天皇◆人権◆基本的人権◆国民の不断の努力◆公共の福祉◆普通教育を受けさせる義務◆勤労の義務◆納税の義務◆自衛隊◆防衛省◆日米安全保障条約◆抑止力◆国の最高法規◆国民投票◆自由権◆表現の自由◆精神の自由◆人身（身体）の自由◆経済活動の自由◆法の下での平等◆男女共同参画社会基本法◆障害者基本法◆バリアフリー化◆社会権◆生存権◆教育を受ける権利◆勤労の権利◆団結権◆団体交渉権◆団体行動権◆労働三権◆労働基本権◆参政権◆選挙権◆被選挙権◆請願権◆裁判を受ける権利◆請求権◆プライバシーの権利◆知る権利◆情報公開法◆環境権◆世界人権宣言◆国際人権規約◆児童の権利に関する条約 ◇民主政治のしくみ ◆政治◆民主主義◆民主政治◆多数決の原理◆少数意見の尊重◆直接民主制◆間接民主制（議会制民主主義）◆政党◆公約◆政党政治◆与党◆野党◆連立政権◆普通選挙◆平等選挙◆直接選挙◆秘密選挙◆小選挙区制◆比例代表制◆小選挙区比例代表並立制◆世論◆マスメディア ◇国の政治のしくみ ◆国会◆立法◆衆議院◆参議院◆二院制◆法律の制定◆委員会◆本会議◆常会◆予算◆内閣総理大臣の指名◆弾劾裁判所◆衆議院の優越◆行政◆内閣◆内閣総理大臣◆国務大臣◆首相◆閣議◆議院内閣制◆内閣不信任の決議◆衆議院を解散◆総辞職◆行政権の肥

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	<p>メディア◆メディアリテラシー◆一票の格差</p> <p>◇国の政治の仕組み</p> <p>◆国会◆国権の最高機関◆唯一の立法機関◆二院制◆衆議院◆参議院◆常会◆法律の制定（立法）◆予算の審議・議決◆委員会◆本会議◆内閣総理大臣の指名◆衆議院の優越◆行政◆条約の承認◆国政調査権◆憲法改正の発議◆内閣総理大臣（首相）◆内閣◆国務大臣◆議院内閣制◆総辞職◆内閣不信任の決議◆衆議院の解散◆公務員◆全体の奉仕者◆財政◆行政改革◆規制緩和◆法◆司法（裁判）◆裁判所◆最高裁判所◆下級裁判所◆控訴◆上告◆三審制◆裁判官◆司法権の独立◆民事裁判◆原告◆被告◆刑事裁判◆検察官◆被疑者◆被告人◆令状◆弁護人◆司法制度改革◆裁判員制度◆裁判員◆三権分立◆国民審査◆違憲審査制◆憲法の番人</p> <p>◇地方自治と私たち</p> <p>◆地方公共団体◆地方自治◆民主主義の学校◆地方分権◆地方議会◆条例◆首長◆二元代表制◆直接請求権◆地方財政◆歳出◆地方税◆歳入◆地方交付税交付金◆国庫支出金◆地方債◆過疎◆住民投票◆NPO</p>	<p>選挙◆平等選挙◆秘密選挙◆直接選挙◆小選挙区制◆比例代表制◆小選挙区比例代表並立制◆18歳選挙権◆一票の格差◆政党◆公約◆政権◆与党◆野党◆政党政治◆二党制◆多党制◆連立政権◆政党交付金◆世論◆マスメディア◆メディアリテラシー</p> <p>◇三権分立のしくみと私たちの政治参加</p> <p>◆国会◆国権の最高機関◆唯一の立法機関◆常会◆臨時会◆特別会◆衆議院◆参議院◆二院制◆衆議院の優越◆法律を制定（立法）◆予算◆国政調査権◆内閣総理大臣を指名◆弾劾裁判◆本会議◆委員会◆公聴会◆両院協議会◆行政◆内閣◆内閣総理大臣（首相）◆国務大臣◆閣議◆議院内閣制◆内閣不信任案◆総辞職◆衆議院を解散◆公務員◆行政改革◆規制緩和◆小さな政府◆大きな政府◆裁判（司法）◆裁判を受ける権利◆司法権◆最高裁判所◆下級裁判所◆司法権の独立◆裁判官◆弾劾裁判◆国民審査◆控訴◆上告◆三審制◆民事裁判◆行政裁判◆原告◆被告◆和解◆被疑者◆検察官◆起訴◆被告人◆刑事裁判◆弁護人（弁護士）◆司法制度改革◆裁判員制度◆被害者参加制度◆三権分立◆違憲立法審査権◆憲法の番人</p> <p>◇地方自治と住民の参加</p> <p>◆地方自治◆中央集権◆地方分権◆地方分権一括法◆地方分権改革◆地方自治法◆地方公共団体（地方自治体）◆行政サービス◆首長◆議会◆条例◆オンブズマン制度◆直接請求権◆住民投票◆地方税◆地方交付税◆国庫支出金◆市町</p>	<p>◇政治と私たち</p> <p>◆政治◆民主主義◆民主政治◆直接民主制◆間接民主制◆国会◆議会制民主主義◆国会議員◆世論◆メディア◆マスメディア◆メディアリテラシー◆政党◆公約◆政党政治◆与党◆野党◆連立政権◆政党交付金◆普通選挙◆平等選挙◆秘密選挙◆直接選挙◆公職選挙法◆小選挙区制◆比例代表制◆小選挙区比例代表並立制◆一票の格差</p> <p>◇国の政治のしくみ</p> <p>◆国権の最高機関◆唯一の立法機関◆予算◆内閣総理大臣の指名◆弾劾裁判所◆国政調査権◆衆議院◆参議院◆二院制◆衆議院の優越◆解散◆常会◆委員会◆本会議◆議員立法◆行政◆内閣◆内閣総理大臣（首相）◆国務大臣◆閣議◆議院内閣制◆内閣不信任案◆衆議院を解散◆大統領制◆公務員◆行政権の拡大◆行政改革◆規制緩和◆司法（裁判）◆民事裁判◆刑事裁判◆原告◆被告◆被告人◆検察官◆三審制◆控訴◆上告◆司法権の独立◆最高裁判所◆推定無罪の原則◆司法制度改革◆裁判員制度</p> <p>◇地方自治と私たち</p> <p>◆地方公共団体◆団体自治◆住民自治◆地方自治◆民主主義の学校◆地方分権◆地方議会◆首長◆条例◆直接請求権◆住民投票◆住民参加◆非営利組織（NPO）◆地方財政◆地方税◆自主財源◆地方交付税交付金◆国庫支出金◆依存財源◆投票率◆政治参加</p>	<p>票の格差◆政党◆公約◆政党政治◆与党◆野党◆連立政権◆世論◆マスメディア◆メディアリテラシー</p> <p>◇国の政治のしくみ</p> <p>◆議会制民主主義◆国会◆唯一の立法機関◆国権の最高機関◆衆議院◆参議院◆二院制◆衆議院の優越◆法律の制定◆予算の審議◆内閣総理大臣の指名◆弾劾裁判所◆常会◆委員会◆本会議◆行政◆内閣◆内閣総理大臣（首相）◆国務大臣◆閣議◆議院内閣制◆内閣不信任の決議◆衆議院の解散◆総辞職◆公務員◆行政改革◆規制緩和◆裁判◆司法権◆裁判所◆最高裁判所◆三審制◆控訴◆上告◆裁判を受ける権利◆司法権の独立◆弾劾裁判◆違憲審査権◆憲法の番人◆民事裁判◆原告◆被告◆刑事裁判◆検察官◆被疑者◆被告人◆罪刑法定主義◆適正手続きの保障◆推定無罪の原則◆疑わしきは罰せず◆司法制度改革◆弁護士◆裁判員制度◆裁判員◆三権分立◆民主主義</p> <p>◇くらしを支える地方自治</p> <p>◆地方自治◆住民自治◆地方分権◆地方公共団体◆民主主義の学校◆首長◆地方議会◆条例◆地方財政◆地方税◆地方交付税交付金◆国庫支出金◆直接請求権◆住民投票◆住民参加◆情報公開◆NPO◆社会参画</p>	<p>行政権◆司法権◆権力分立◆三権分立◆議院内閣制◆選挙権◆被選挙権◆普通選挙制度◆小選挙区比例代表並立制◆マニフェスト◆マスメディア◆世論調査◆世論◆メディア・リテラシー◆政党◆国会◆与党◆野党◆政党政治◆連立政権◆国会◆衆議院◆参議院◆二院制◆衆議院の優越◆両院協議会◆国会◆法律◆委員会◆議員立法◆予算◆内閣総理大臣◆憲法改正の発議◆弾劾裁判所◆国政調査権◆行政◆政府◆内閣総理大臣◆国務大臣◆閣議◆議院内閣制◆内閣の不信任決議◆衆議院の解散◆総辞職◆内閣◆法律◆予算◆最高裁判所長官◆行政の肥大化◆規制緩和◆民営化◆司法◆最高裁判所◆下級裁判所◆司法権の独立◆三審制◆違憲立法審査権◆民事裁判◆原告◆被告◆和解◆刑事裁判◆被疑者◆検察官◆罪刑法定主義◆裁判員制度</p> <p>◇地方公共団体の仕組みと課題</p> <p>◆地方公共団体◆地方自治体◆地方自治法◆首長◆地方議会◆二元代表制◆地方自治◆リコール◆直接請求権◆住民投票◆地方財政◆地方税◆地方交付税◆国庫支出金◆自主財源◆高齢社会◆地方分権◆民主政治の学校</p>	<p>大◆規制緩和◆行政改革◆公務員◆全体の奉仕者◆裁判◆司法◆司法権◆裁判所◆司法権の独立◆裁判官◆弾劾裁判◆最高裁判所◆下級裁判所◆三審制◆控訴◆上告◆民事裁判◆刑事裁判◆原告◆被告◆検察官◆被疑者◆被告人◆令状◆司法制度改革◆裁判員制度◆裁判員◆三権分立◆違憲立法審査権◆憲法の番人◆国民審査</p> <p>◇地方自治と住民</p> <p>◆地方公共団体◆地方自治◆地方分権◆災害対策基本法◆首長◆地方議会◆条例◆地方交付税交付金◆国庫支出金◆市町村合併◆直接請求権◆住民投票◆過疎化◆まちづくり◆村おこし◆地方創生</p>

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
		村合併◆NPO(非営利組織)◆協働				
私たちと国際社会の諸課題 ア 世界平和と人類の福祉の増大 イ よりよい社会を目指して	<p>◇国際社会の仕組み</p> <p>◆国民◆領域◆主権◆主権国家◆領土◆領海◆領空◆排他的経済水域◆国際法◆国際司法裁判所◆日章旗◆君が代◆竹島◆北方領土◆尖閣諸島◆発展途上国◆先進工業国◆南北問題◆新興国◆南南問題◆国際協調◆国際連合憲章◆国際連合(国連)◆総会◆安全保障理事会◆常任理事国◆非常任理事国◆拒否権◆平和維持活動(PKO)◆UNESCO◆WHO◆持続可能な開発目標(SDGs)◆IMF◆世界銀行◆WTO◆GATT◆相互依存◆地域主義◆EU◆ASEAN</p> <p>◇さまざまな国際問題</p> <p>◆貧困◆飢餓◆マイクログレジット◆フェアトレード◆難民◆難民条約◆地域紛争◆貧困◆気候変動◆温室効果ガス◆地球温暖化◆温室効果ガス◆国連環境開発会議(地球サミット)◆京都議定書◆パリ協定◆カーボンニュートラル◆持続可能な社会◆化石燃料◆原子力発電◆放射性廃棄物◆再生可能エネルギー◆水力発電◆火力発電◆地域紛争◆民族紛争◆テロリズム(テロ)◆サイバー攻撃◆軍縮◆核拡散防止条約◆核兵器禁止条約</p> <p>◇これからの地球社会と日本</p> <p>◆平和主義◆国際貢献◆政府開発援助(ODA)◆持続可能な開発目標(SDGs)◆世界遺産条約◆世界遺産◆人間の安全保障◆異文化理解</p>	<p>◇国際社会の平和を旨として</p> <p>◆主権◆主権国家◆国旗◆国歌◆国際法◆領域◆国民◆主権◆領土◆領海◆領空◆排他的経済水域◆国際連合憲章◆国際連合(国連)◆安全保障理事会(安保理)◆常任理事国◆拒否権◆総会◆平和維持活動(PKO)◆地域統合(地域主義)◆ヨーロッパ連合(EU)◆ユーロ◆東南アジア諸国連合(ASEAN)◆アジア太平洋経済協力(APEC)◆環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)◆政府開発援助(ODA)◆NGO(非政府組織)◆非核三原則◆核兵器不拡散条約(NPT)</p> <p>◇国際社会が抱える課題と私たち</p> <p>◆冷戦◆テロリズム◆地域紛争◆難民◆国連難民高等弁務官事務所(UHCR)◆民族◆宗教◆人間の安全保障◆先進国◆発展途上国(途上国)◆南北問題◆南南問題◆持続可能な開発目標(SDGs)◆食糧不足◆水不足◆貧困◆子ども兵士◆化石燃料◆原子力発電◆再生可能エネルギー◆地球環境問題◆地球温暖化◆温室効果ガス◆国連環境開発会議(地球サミット)◆持続可能な発展◆京都議定書◆パリ協定</p> <p>◇持続可能な未来の社会へ</p> <p>◆SDGs(持続可能な開発目標)</p>	<p>◇国際社会と私たち</p> <p>◆主権国家◆内政不干渉◆主権◆住民◆領域◆領土◆領海◆領空◆領土不可侵◆排他的経済水域(EEZ)◆国際法◆国際協調◆国際司法裁判所◆国旗◆国歌◆日章旗◆君が代◆北方領土◆竹島◆尖閣諸島◆国際連合(国連)◆平和維持活動(PKO)◆総会◆安全保障理事会◆経済社会理事会◆常任理事国◆非常任理事国◆拒否権◆人間の安全保障◆持続可能な開発目標(SDGs)◆非政府組織(NGO)◆キリスト教◆イスラム教◆仏教◆ヒンドゥー教◆地域紛争◆内戦◆難民◆テロリズム◆核兵器◆核抑止◆核軍縮交渉◆核拡散防止条約(NPT)◆国際原子力機関(IAEA)◆軍縮◆地球環境問題◆地球サミット◆京都議定書◆温室効果ガス◆パリ協定◆化石燃料◆再生可能エネルギー◆水力◆太陽光◆風力◆地熱◆バイオマス◆火力発電◆水力発電◆原子力発電◆脱炭素社会◆カーボンニュートラル◆3R(リデュース、リユース、リサイクル)◆循環経済(サーキュラーエコノミー)◆エシカル消費◆排出権取引◆環境税◆環境技術◆グローバル化◆発展途上国◆新興国◆南北問題◆南南問題◆G7◆G20◆地域機構◆ポピュリズム◆貧困◆政府開発援助(ODA)◆食品ロス◆フェアトレード◆マイクログレジット◆国際協調◆平和主義◆日米安全保障条約◆東南アジア諸国連合(ASEAN)◆アジア太平洋経済協力(APEC)◆環太平洋パートナーシップに</p>	<p>◇国家と国際社会</p> <p>◆持続可能性◆持続可能な社会◆持続可能な開発目標(SDGs)◆領域◆国民◆主権◆主権国家◆日章旗◆君が代◆領土◆領海◆領空◆排他的経済水域◆民族自決の原則◆内政不干渉の原則◆国際法◆国際協調◆北方領土◆竹島◆国際司法裁判所◆尖閣諸島◆国際連合(国連)◆総会◆安全保障理事会◆常任理事国◆拒否権◆専門機関◆地域統合◆地域主義◆APEC◆東南アジア諸国連合(ASEAN)◆AU◆ヨーロッパ連合(EU)◆移民◆多様性◆寛容</p> <p>◇国際社会の課題と私たちの取り組み</p> <p>◆地域紛争◆テロリズム(テロ)◆難民◆核兵器不拡散条約(NPT)◆非核三原則◆平和主義◆政府開発援助(ODA)◆平和維持活動(PKO)◆人間の安全保障◆発展途上国◆南北問題◆南南問題◆化石燃料◆地球温暖化◆再生可能エネルギー◆東日本大震災◆原子力発電◆地球環境問題◆温室効果ガス◆地球温暖化◆国連環境開発会議◆京都議定書◆パリ協定◆カーボンニュートラル</p>	<p>◇国際社会の仕組み</p> <p>◆国家主権◆主権国家◆自衛権◆国家の三要素◆領土問題◆北方領土問題◆竹島問題◆尖閣諸島◆国旗◆国歌◆主権国家◆国益◆外交◆国際法◆国際連合◆地域機構◆NGO</p> <p>◇国際連合のはたらきと国際政治</p> <p>◆国際連盟◆集団安全保障◆国際連合(国連)◆安全保障理事会◆拒否権◆旧敵国◆グローバル化◆多極化◆自由民主主義◆一党独裁◆国際法◆新冷戦◆地域紛争◆湾岸戦争◆多国籍軍◆国連平和維持活動(PKO)◆PKO部隊◆対テロ戦争◆世界人権宣言◆アパルトヘイト◆強制失踪防止条約◆少数民族の人権◆難民</p> <p>◇世界と日本の安全保障</p> <p>◆集団安全保障◆PKO協力法◆日米安全保障体制◆拉致事件◆個別的自衛権◆専守防衛◆日米共同防衛◆基地貸与◆集団的自衛権◆重要影響事態法◆核兵器◆核兵器不拡散条約◆非核三原則◆核の傘</p> <p>◇人類の未来と国際社会</p> <p>◆エネルギー資源◆グローバル化◆地球環境問題◆新エネルギー◆再生可能エネルギー発電◆貧困問題◆南北問題◆ODA◆南南問題◆ミレニアム開発目標◆MDGs◆持続可能な開発目標(SDGs)◆地球環境問題◆地球温暖化◆気候変動枠組条約◆京都議定書◆パリ協定</p> <p>◇持続可能な社会を目指して</p> <p>◆地球環境問題◆青年海外協力隊◆日本型ODA◆人間の安全保障◆核兵器廃絶◆核抑止論◆食料自給率◆公民◆愛国心</p>	<p>◇持続可能な社会をつくるために</p> <p>◆持続可能な社会◆持続可能な開発のための目標(SDGs)◆貧困◆飢餓◆地球温暖化◆京都議定書◆パリ協定◆化石燃料◆再生可能エネルギー◆文化の多様性◆世界遺産◆異文化理解</p> <p>◇国際社会の中の日本</p> <p>◆国家◆国民◆愛国心◆日章旗(日の丸)◆君が代◆主権・領域・国民◆主権国家◆領土◆領海◆領空◆排他的経済水域◆国際法◆条約◆北朝鮮による日本人拉致問題◆北方領土◆竹島◆尖閣諸島◆地域紛争◆核拡散防止条約(NPT)◆国際連合◆総会◆安全保障理事会◆専門機関◆拒否権◆国連平和維持活動(PKO)◆国際司法裁判所◆地域機構◆ヨーロッパ連合(EU)◆北大西洋条約機構(NATO)◆東南アジア諸国連合(ASEAN)◆アジア太平洋経済協力会議(APEC)◆環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)◆クアッド◆南北問題◆BRICS◆石油輸出国機構(OPEC)◆南南問題◆外交◆国益◆人間の安全保障◆政府開発援助(ODA)</p>

調査項目		発行者名					
		2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
				関する包括的な及び先進的な協定（CPTPP）◆RCEP 協定◆地域主義		◆持続可能◆◆対立◆合意◆公正◆効率	
「日本の領域」の取り扱われている事項	領域を示した地図、図表、写真等の内容	◇領土・領海・領空などを示す図 ◇日本の領域と排他的経済水域を示す地図 ◇沖ノ鳥島の写真と解説	◇領土・領海・領空などを示す図 ◇日本の領域と排他的経済水域を示す地図 ◇北方領土とその周辺を示す地図 ◇北方領土の返還を求めて訴える人たち、日ロ外相会談の写真 ◇竹島と尖閣諸島の写真	◇領土・領海・領空などを示す図 ◇日本の領域と排他的経済水域を示す地図 ◇北方領土とその周辺を示す地図 ◇尖閣諸島とその周辺の地図	◇領土・領海・領空などを示す図 ◇日本の領域と排他的経済水域を示す地図 ◇沖ノ鳥島の写真と解説 ◇北方領土とその周辺を示す地図 ◇竹島、尖閣諸島の写真	◇日本の領域と排他的経済水域を示す地図 ◇沖ノ鳥島と南鳥島の写真と解説 ◇中国の天然ガス採掘施設の写真	◇領土・領海・領空などを示す図 ◇日本の領域と排他的経済水域を示す地図 ◇沖ノ鳥島の写真と解説 ◇北方領土、竹島、尖閣諸島の写真と解説 ◇尖閣諸島の詳細を示した地図
「北方領土」に関する記載のある単元、内容	◇国際社会の仕組み ◆「日本は、第二次世界大戦後、平和主義を基本原理とする日本国憲法の下で国際協調を進め、平和で民主的な国家を造り上げてきました。しかし、その一方で、日本固有の領土をめぐって、現在でも周辺諸国との間で問題をかかえている地域も残されています。韓国やロシアに不法に占拠され、抗議を続けている竹島や北方領土、また、日本の固有の領土であり、領土問題は存在しない一方で、中国や台湾が領有権を主張している尖閣諸島がそれに当たります。ここでは、それぞれの問題が起こった経緯や、解決に向けた取り組みについて見ていきましょう。」 ◆「北方領土の経緯と取り組み」と題し、詳細な解説や地図、写真などの資料がある。（P187）	◇国際社会に生きる私たち ◆「北海道の東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土や、日本海に位置する竹島（島根県）は、歴史的にも国際法のうえでも日本固有の領土であるというのが、日本政府の立場です。しかし、現在これらの島々は不法に占拠されています。」 ◆「北方領土は、第二次世界大戦の終結後にソ連に占拠され、現在はロシアに引き継がれています。日本は北方領土の返還をロシアに求め続けていますが、いまだに実現していません。ロシア政府も領土問題の存在を認めていて、現在両国の政府は交渉を続けてきています。」 ◆北方領土とその周辺を示す地図に加えて、「日本とロシアは、北方領土をめぐって正式な交渉を行ってきています。1956年の日ソ共同宣言において、ソ連は日本が返還を求める四島のうち、歯舞群島と色丹島を日ソ平和条約の締結後に、日本に引き渡すことに同意しています。」という解説がある。（P198・199）	◇国際社会 ◆「北海道の東にある北方領土とよばれる歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は日本固有の領土です。しかし、1945年に日ソ中立条約を破って侵攻してきたソ連に占拠されました。日本人の住民は立ち退きを余儀なくされ、今に至るまでソ連、続いてロシアが不法に占拠を続けています。周辺海域で操業する日本の漁船がだ捕されるなど、多くの問題が生じています。日本はロシアと北方領土問題を解決して、両国が平和条約を締結することに向けて外交交渉を続けていました。しかし、2022年のロシアによるウクライナ侵攻を受けて、日本はロシアに対して厳しい経済制裁を行い、ロシアは日本との交渉を中断すると表明しました。」という本文記述に関連して、1951年のサンフランシスコ平和条約、1956年の日ソ共同宣言について、欄外に注釈がついている。 ◆北方領土とその周辺の地図に1855年以降の国境線が加えられ、「日本とロシアは1855年に日露通好条約によって、得撫島と択捉島の間に国境を定めました」という解	◇国家と国際社会 ◆「北海道根室沖の歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島は北方領土とよばれ、歴史的に日本固有の領土です。しかし、1945年にソ連に占領され、ソ連解体後もロシアが不法に占拠しています。現在、日本は北方領土の返還をロシアに強く要求していますが、いまだに実現していません。」 ◆「江戸時代から北方領土は日本の領土である。サンフランシスコ平和条約で放棄した千島列島に、北方領土は含まれない。」 ◆「北方領土や竹島へは渡航ができず、周辺で水産資源や鉱産資源が豊富ですが、漁業や海洋資源開発を行うことが制限されています。また過去には船舶の拿捕、船員の抑留がなされるなどの問題が発生し、日本人の死傷者が出たこともあります。日本政府は、日本の立場が歴史的にも国際法上も正当であるとして、これらの未解決の問題について、平和的な手段による解決に向けて取り組んでいます。」 ◆北方領土とその周辺の地図には、日ロ双方の主張の解説がある。（P195）	◇国際社会の仕組み ◆「わが国には、北方領土問題、竹島問題の2つの重大な領土問題があります。北方領土と竹島は、歴史的にも国際法的にもわが国固有の領土ですが、ロシアと韓国が不法にそれぞれ占拠しています。」（P167） ◆「もっと知りたい わが国の領土問題」と題して、1855年の国境を示す地図や主な歴史年表に合わせて詳細な解説がある。（P170～171）	◇国際社会の中の日本 ◆「北海道に属する北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）、島根県の竹島は、どちらも日本固有の領土（一度も外国の領土になったことがない土地）ですが、それぞれロシアと韓国が領有を主張し、不法占拠（国際法上の根拠がないまま占領）しています。これらの地域では、船舶の拿捕、船員の抑留が行われたり、その中で過去には日本側に死傷者が出たりするなど、不法占拠のために深刻な問題が発生しています。日本の立場が歴史的にも国際法上も正当であり、日本は平和的な手段による解決に向けて努力しています。」 ◆北方領土の写真に「北方四島（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）は日本固有の領土です。しかし、第二次世界大戦末期の1945（昭和20）年8月9日、ソ連は日ソ中立条約に違反して対日参戦し、北方四島のすべてを占領しました。それ以降、今日にいたるまでソ連、ロシアによる不法占拠が続いています。」との解説がある。（P191） ◆「学習を深めよう 日本の領土をめぐる問題」と題して、	

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
			説がある。(P187)	◆「公民+α 日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」と題して、詳細な解説や写真がある。(P196)		詳細な解説や歴史年表、地図がある。(P192)
「竹島」に関する記載のある単元、内容	◇国際社会の仕組み ◆「日本は、第二次世界大戦後、平和主義を基本原理とする日本国憲法の下で国際協調を進め、平和で民主的な国家を造り上げてきました。しかし、その一方で、日本固有の領土をめぐる、現在でも周辺諸国との間で問題をかかえている地域も残されています。韓国やロシアに不法に占拠され、抗議を続けている竹島や北方領土、また、日本の固有の領土であり、領土問題は存在しない一方で、中国や台湾が領有権を主張している尖閣諸島がそれに当たります。ここでは、それぞれの問題が起こった経緯や、解決に向けた取り組みについて見ていきましょう。」 ◆「竹島問題の経緯と取り組み」と題し、詳細な解説や地図、写真などの資料がある。(P186)	◇国際社会に生きる私たち ◆「北海道の東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土や、日本海に位置する竹島（島根県）は、歴史的にも国際法のうえでも日本固有の領土であるというのが、日本政府の立場です。しかし、現在これらの島々は不法に占拠されています。」 ◆「竹島については、1952年以來韓国が領有権を主張し、占拠を続けています。日本は韓国に抗議し、国際司法裁判所での話し合いによる解決を提案していますが、韓国政府は領土問題の存在を否定し、未解決のままとなっています。」 ◆竹島の写真に加えて、「日本海に位置する女島（東島）、男島（西島）などからなる群島です。江戸時代の初めから島の周辺で日本人が漁業を行っていて、1905年の閣議決定で島根県に編入しました。1952年に、韓国が自国の権益の範囲として設定した「李承晩ライン」の内側に竹島を位置づけ、1954年からは警備隊を常駐させて、不法に占拠を続けています。」という記述がある。(P199)	◇国際社会 ◆「島根県隠岐の島町に属する竹島も、日本固有の領土です。しかし韓国が、1952年に一方的に公海上に境界線（「李承晩ライン」）を引き、54年からは竹島に海洋警察隊を駐留させ、今日まで不法に占拠を続けています。日本は韓国に対して繰り返し抗議を行っています。また日本はこの問題の平和的な解決を図るため、国際司法裁判所に委ねようと韓国に複数回提案しましたが、いずれも韓国が拒否したため国際司法裁判所への付託は実現していません。」という本文記述に関連して、欄外に注釈がついている。	◇国家と国際社会 ◆「竹島は、1905年に閣議決定で島根県に編入された日本固有の領土です。サンフランシスコ平和条約でも北方領土と竹島は日本が放棄した島々には含まれていません。しかし、1952年以降、韓国が竹島を取りこみ、今も不法に占拠しており、日本政府は韓国に対して何度も厳重に抗議しています。」 ◆「北方領土や竹島へは渡航ができず、周辺で水産資源や鉱産資源が豊富ですが、漁業や海洋資源開発を行うことが制限されています。また過去には船舶の拿捕、船員の抑留がなされるなどの問題が発生し、日本人の死傷者が出たこともあります。日本政府は、日本の立場が歴史的にも国際法上も正当であるとして、これらの未解決の問題について、平和的な手段による解決に向けて取り組んでいます。竹島については、日本政府は国際司法裁判所で解決することを提案していますが、韓国側はこれに応じていません。」(P195) ◆竹島の写真には「韓国の建設した施設があります。」という記述がある。「公民+α日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」と題して、詳細な記述や写真がある。(P196)	◇国際社会の仕組み ◆「わが国には、北方領土問題、竹島問題の2つの重大な領土問題があります。北方領土と竹島は、歴史的にも国際法的にもわが国固有の領土ですが、ロシアと韓国が不法にそれぞれ占拠しています。」(P167) ◆「もっと知りたい わが国の領土問題」と題して、1855年の国境を示す地図や主な歴史年表に合わせて詳細な解説がある。(P170～171)	◇国際社会の中の日本 ◆「北海道に属する北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）、島根県の竹島は、どちらも日本固有の領土（一度も外国の領土になったことがない土地）ですが、それぞれロシアと韓国が領有を主張し、不法占拠（国際法上の根拠がないまま占領）しています。これらの地域では、船舶の拿捕、船員の抑留が行われたり、その中で過去には日本側に死傷者が出たりするなど、不法占拠のために深刻な問題が発生しています。日本の立場が歴史的にも国際法上も正当であり、日本は平和的な手段による解決に向けて努力しています。」 ◆竹島の写真に「竹島は、歴史的にも国際法上も明らかに日本固有の領土ですが、韓国が不法占拠しています。日本は厳重に抗議するとともに、竹島の領有権に関する問題を国際司法裁判所に付託することを提案していますが、韓国が拒否しています。」との記述がある。(P191) ◆「学習を深めよう 日本の領土をめぐる問題」と題して、詳細な解説や歴史年表などの資料がある。(P193)
「尖閣諸島」に関する記載のある単元、内容	◇国際社会の仕組み ◆「日本は、第二次世界大戦後、平和主義を基本原理とする日本国憲法の下で国際協調	◇国際社会に生きる私たち ◆「尖閣諸島（沖縄県）については、1895年以來日本の領土であり、領有権の問題は存在	◇国際社会 ◆「沖縄県石垣市に属する尖閣諸島も日本固有の領土です。1951年のサンフランシスコ	◇国家と国際社会 ◆「尖閣諸島は、1895年に閣議決定で沖縄県に編入された日本固有の領土です。第二次	◇国際社会の仕組み ◆「そのほかわが国固有の領土である尖閣諸島を中国が領有権を主張し、公船が領海侵	◇国際社会の中の日本 ◆「これらの領土問題のほか、沖縄県の尖閣諸島は日本固有の領土で、日本が実効支配

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	<p>を進め、平和で民主的な国家を造り上げてきました。しかし、その一方で、日本固有の領土をめぐる、現在でも周辺諸国との間で問題をかかえている地域も残されています。韓国やロシアに不法に占拠され、抗議を続けている竹島や北方領土、また、日本の固有の領土であり、領土問題は存在しない一方で、中国や台湾が領有権を主張している尖閣諸島がそれに当たります。ここでは、それぞれの問題が起こった経緯や、解決に向けた取り組みについて見ていきましょう。」</p> <p>◆「尖閣諸島への対応」と題し、詳細な解説や地図、写真などの資料がある。(P187)</p>	<p>しないというのが日本政府の立場です。しかし、中国が領有権を主張している、中国による領海侵犯が起きています。」</p> <p>◆尖閣諸島の写真に加えて、「南西諸島西端に位置する魚釣島、北小島、南小島などからなる島々は、1895年の閣議決定で沖縄県に編入されました。第二次世界大戦後にアメリカの施政下に置かれた時期を除き、日本が領有し、有効に支配を続けてきました。しかし、東シナ海に石油資源がある可能性が指摘されると、1970年代から中国が自国の領土であると主張し始め、近年、周辺の日本領海に中国船が侵入する事態が生じています。」という記述がある。(P199)</p> <p>◆「読んで深く考えよう 日本の外交の今とこれから日本と近隣諸国との外交関係」の中に、「中国との外交関係」と題して、海上保安庁による警戒や取り締まりに関する説明や写真がある。(P201)</p>	<p>平和条約により、日本の領土と扱われたうえでアメリカの施政下におかれましたが、71年調印の沖縄返還協定で返還されています。他方、周辺の海底に石油などの資源がある可能性が指摘された1970年代以降、中国が領有権を主張しています。しかし国際法上は尖閣諸島が日本の領土であることは明らかで、日本政府による管理も及んでいるため、他国との間で解決すべき領有権の問題はありません。中国は近年、尖閣諸島周辺の海に船を派遣して日本の領海に侵入しており、日本は抗議を行うとともに領海や領空の監視を強めています。」という本文記述に関連して、欄外に注釈がついている。(P187)</p> <p>◆尖閣諸島沖を航行する海上保安庁の船と中国の船の写真が掲載されている。(P186)</p>	<p>世界大戦後、日本の領土としてあつかわれたうえで、沖縄の一部としてアメリカの統治下におかれましたが、沖縄返還協定によって1972年に日本の領土にもどりました。周辺海域に石油資源などが埋蔵されている可能性が指摘され、1970年代になって、中国が領有権を主張するようになりました。尖閣諸島については、これまで日本が有効に支配しており、国際法上も正当であり、解決すべき領土問題は存在しません。」</p> <p>◆尖閣諸島の写真には、それぞれの島の名称の説明がある。(P195)</p> <p>◆「公民+α 日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」と題して、詳細な記述や写真がある。(P197)</p>	<p>犯、航空機が領空接近を繰り返しています。」(P167)</p> <p>◆「もっと知りたい海をめぐる国益の衝突」と題して、詳細な記述と魚釣島の写真がある。(P174～175)</p>	<p>(実際に統治)しているため、解決すべき領有権の問題は存在していませんが、中国政府と台湾当局が領有を主張しています。」</p> <p>◆「尖閣諸島が日本固有の領土であることは、歴史的にも国際法上も疑いなく、現に日本は有効に支配しています。近年、中国政府と台湾当局が領有を主張していますが、尖閣諸島をめぐる解決すべき領有権の問題はそもそも存在しません。」(P191)</p> <p>◆「学習を深めよう 日本の領土をめぐる問題」と題して、詳細な解説や歴史年表などの資料がある。(P193)</p>

別表2

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
「復習コーナー」等、基礎的・基本的な内容を習得するための内容	◇各章ごとに「学習をまとめよう」を設け、学習した用語の確認、学習内容の穴埋め、内容を深めさせる課題を出題している。	◇各章ごとに「学習のまとめと表現」を設け、学習内容を図式化したものの穴埋め、自分の言葉を用いての文章での表現を行う課題を出題している。	◇各章ごとに「学習を振り返ろう」を設け、図式化されたもので、重要語句の確認、関連するキーワードを用いて、自分の言葉で表現する課題を出題している。	◇各章ごとに「まとめと振り返り」を設け、学習内容が図式化されたものへの穴埋めや、掲示された資料や課題から自分の意見を考え、討議する課題を出題している。	◇各章ごとに「学習のまとめと発展」を設け、最重要語句をもとに、「3つの問題」に取り組む課題と、5つの問題の中から1つを選び、400字程度でまとめる課題を出題している。	◇各章ごとに「学習のまとめ」を設け、重要語句の確認や、学習内容の穴埋め、資料を用いて表現させる課題を出題している。
「現代社会をとらえる見方や考え方」の基礎として「対立と合意」「効率と公正」を理解させるために取り上げられている事例	◇1年前の学校でのトラブルについて考えよう ◇いちごを効率的に配分するには ◇現在の学校でのトラブルについて考えよう	◇ルールについて考えよう ～合唱コンクールの練習 ◇ルールをつくってみよう ～ごみの収集所の新たな設置	◇防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう ◇マンションの騒音問題を解決しよう	◇公園づくりについて話し合おう	◇魅力ある「まちづくり」を考えよう	◇マンションの住民のペットの飼育に関する状況や考え

教科・種目名 社会（公民的分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	◇T市の自転車の使用ルールを考えよう					
小学校での既習事項及び地理的分野、歴史的分野での既習事項と関連付けた内容	<p>小学校での既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇人権の歴史と憲法 ◇日本国憲法とは ◇国民主権と私たちの責任 ◇平和主義の意義と日本の役割 ◇基本的人権と個人の尊重 ◇平等権 ◇政治と民主主義 ◇選挙の意義と仕組み ◇マスメディアと世論 ◇国会の地位と仕組み ◇法律や予算ができるまで ◇裁判所の仕組みと働き ◇地方自治の仕組み ◇私たちの消費生活 ◇市場経済と価格の決め方 ◇景気と金融政策 ◇グローバル経済と金融 ◇私たちの生活と財政 ◇公害の防止と環境の保全 ◇経済の持続可能性と真の豊かさ ◇国際社会における国家 ◇国際連合の仕組みと役割 ◇新しい戦争 ◇世界と協力する日本 <p>地理的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇グローバル化 ◇少子高齢化 ◇情報化 ◇私たちの生活と文化の役割 ◇伝統文化と新たな文化の創造 ◇平和主義の意義と日本の役割 ◇新しい人権① ◇住民参加の拡大と私たち ◇グローバル経済と金融 ◇少子高齢化と財政 ◇国際社会における国家 ◇地域主義の動き ◇新興国の台頭と経済格差 ◇地球環境問題 ◇資源・エネルギー問題 ◇より良い地球社会を目指して 	<p>小学校での既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇つながる私たちと世界 ◇急速に進展する情報社会 ◇誰もが活躍できる社会へ ◇豊かな生活を実現するために ◇伝統文化の継承と文化の創造 ◇地域のルールを考えよう ◇よりよい社会を築くために ◇人権の考え方と歴史 ◇憲法はこうして生まれた ◇国民の意思による政治 ◇基本的人権を尊重すること ◇差別をしない、させない ◇ともに生きる社会の実現へ ◇自由ってなんだろう ◇自由な社会のために ◇人間らしい生活とは ◇人間らしい生活の保障へ ◇自ら人権を守るために ◇自由と権利を守るために ◇発展する人権 ◇憲法に定められた平和主義 ◇日本の安全保障と平和主義のこれから ◇民主主義ってなんだろう ◇18歳選挙権と私たち ◇マスメディアと政治 ◇国会の決定は国民の意思 ◇国会は唯一の立法機関 ◇行政をまとめる内閣 ◇暮らしと関わる行政 ◇人権の尊重と裁判 ◇民事裁判と刑事裁判 ◇私たちの司法参加 ◇互いに監視し合う三つの権力 ◇地方自治ってなんだろう ◇暮らしを支える地域の行政サービス ◇地域の暮らしを支えるために ◇変わりゆく地域社会 ◇生産と消費を結ぶ ◇生産活動をにんう主体 ◇さまざまな企業 	<p>小学校での既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報化が進む現代 ◇グローバル化が進む現代 ◇少子高齢化が進む現代 ◇日本の伝統と文化 ◇日本国憲法の成立 ◇国民主権 ◇日本の平和主義 ◇個人の尊重と憲法上の権利 ◇これからの人権を考える ◇権力の分立 ◇国民の願いを実現するために ◇選挙制度とその課題 ◇国会の役割としくみ ◇国会の現状と課題 ◇内閣の役割としくみ ◇地方自治と地方公共団体 ◇地方公共団体のしくみと政治参加 ◇地方財政の現状と課題 ◇私たちと政治参加 ◇経済活動とお金の役割 ◇価格の動きと経済 ◇家計の収入と支出 ◇消費生活と流通の関わり ◇消費者問題と政府の取り組み ◇私たちの生活と企業 ◇グローバル化と日本経済 ◇私たちの生活と財政 ◇国の支出と収入 ◇社会資本の役割と環境への取り組み ◇領土を巡る取り組み ◇国際連合の働きとしくみ ◇現代における紛争 ◇兵器の脅威と軍縮への努力 ◇グローバル化が進む国際社会 ◇国際社会における日本の役割 ◇貧困問題とその解消 ◇地球規模で広がる環境問題 ◇国際社会のよりよい発展 ◇持続可能な社会を目指して 	<p>小学校での既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇現代社会はどんな社会だろうか？ ◇少子高齢化の社会で生きる私たち ◇グローバル化する社会で生きる私たち ◇日本の伝統文化の特徴と多様性 ◇日本国憲法の制定と三つの基本原則 ◇日本国憲法と国民主権 ◇日本国憲法の平和主義 ◇国会の仕事 ◇内閣のしくみと議院内閣制 ◇法を守る裁判所 ◇私たちの司法と裁判員制度 ◇私たちのくらしと地方自治 ◇環境保全の担い手としての政府 ◇国家と国際関係 ◇日本の領土をめぐる問題 <p>地理的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇少子高齢化の社会で生きる私たち ◇情報化で変わる社会と私たち ◇グローバル化する社会で生きる私たち ◇日本の伝統文化の特徴と多様性 ◇差別のない社会へ ◇社会の変化と人権保障科学技術と人権 ◇日米安全保障条約と日本の国際貢献 ◇私たちのくらしと地方自治 ◇地方自治と国の関係 ◇経済活動の意義 ◇市場のしくみと価格の決め方 ◇グローバル化する経済と現代の企業 ◇金融のグローバル化と為替相 	<p>小学校・地理的分野・歴史的分野での学習内容との関連を示すマークや脚注は提示されていないが、地理的・歴史的な内容から公民の学習内容を考えさせるコラムなどを紹介している。</p>	<p>小学校での既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇世界と関わる私 ◇少子高齢化の到来 ◇文化の継承と創造 ◇家族の一員としての私たち ◇大日本帝国憲法と日本国憲法 ◇国民主権と天皇 ◇基本的人権の尊重 ◇平和主義 ◇平和主義と防衛 ◇ともに生きるために ◇社会権 ◇基本的人権を守るための権利 ◇新しい人権 ◇民主主義とは ◇選挙のしくみ ◇政治参加と世論 ◇国会の立法権 ◇国会のしくみと国会議員の仕事 ◇内閣と議院内閣制 ◇内閣の仕事と行政のはたらき ◇裁判所の役割と司法権の独立 ◇国民の司法への参加 ◇三権分立 ◇私たちと地方自治 ◇私たちのまちづくり ◇お金と経済の見方や考え方 ◇財政と租税 ◇景気変動と経済政策 ◇社会保障のしくみ ◇社会保障制度と財政 ◇環境の保全 ◇SDGs がめざす持続可能な開発 ◇地球的規模の環境問題 ◇資源・エネルギー問題 ◇国家と私たち ◇国家の権利 ◇世界平和の実現にむけて ◇国際連合のはたらき ◇国際社会での日本の役割 <p>地理的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇平和主義と防衛

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	<p>歴史的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報化 ◇私たちの生活と文化の役割 ◇伝統文化と新たな文化の創造 ◇社会集団の中で生きる私たち ◇人権の歴史と憲法 ◇日本国憲法とは ◇平和主義の意義と日本の役割 ◇政治と民主主義 ◇選挙の意義と仕組み ◇行政を監視する国会 ◇住民参加の拡大と私たち ◇景気と金融政策 ◇財政の役割と課題 ◇社会保障の仕組み ◇少子高齢化と財政 ◇公害の防止と環境の保全 ◇国際社会における国家 ◇国際連合の仕組みと役割 ◇新興国の台頭と経済格差 ◇新しい戦争 ◇世界と協力する日本 ◇より良い地球社会を目指して 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ものの価格の決まり方 ◇財政が果たす三つの役割 ◇税金を納めること ◇税金の行方と国の借金 ◇身のまわりの社会保障制度 ◇互いに助け合う社会 ◇社会保障の維持のために ◇暮らしやすいまちづくりへ ◇循環型社会に向けて ◇グローバル化する経済 ◇新たな日本経済のあり方 ◇国際社会を構成する国 ◇日本の領土をめぐる ◇国際社会のまとめ役 ◇世界の一員として ◇核なき世界の実現へ ◇終わらない地域紛争 ◇安全をおびやかすもの ◇なくてはならない食糧と水 ◇子どもと女性をめぐる ◇これからの資源・エネルギー ◇「生命の量」を守るために <p>地理的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇つながる私たちと世界 ◇誰もが活躍できる社会へ ◇豊かな生活を実現するために ◇伝統文化の継承と文化の創造 ◇さまざまな人と生きる ◇差別をしない、させない ◇自由と権利を守るために ◇日本の安全保障と平和主義のこれから ◇願いをかなえる政党政治 ◇行政をまとめる内閣 ◇地方自治ってなんだろう ◇暮らしを支える地域の行政サービス ◇地域の暮らしを支えるために ◇変わりゆく地域社会 ◇生産と消費を結ぶ ◇生産活動をになう主体 ◇さまざまな企業 ◇循環型社会に向けて ◇グローバル化する経済 ◇新たな日本経済のあり方 	<p>地理的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇情報化が進む現代 ◇グローバル化が進む現代 ◇少子高齢化が進む現代 ◇生活に息づく文化 ◇日本の伝統と文化 ◇人権保障と法の支配 ◇これからの人権を考える ◇消費生活と流通の関わり ◇グローバル化と日本経済 ◇社会資本の役割と環境への取り組み ◇国家と国際社会 ◇領土を巡る取り組み ◇グローバル化が進む国際社会 ◇貧困問題とその解消 ◇地球規模で広がる環境問題 ◇資源・エネルギー問題 ◇国際社会のよりよい発展 ◇持続可能な社会を目指して <p>歴史的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇グローバル化が進む現代 ◇少子高齢化が進む現代 ◇生活で息づく文化 ◇日本の伝統と文化 ◇民主主義と立憲主義 ◇人権保障と法の支配 ◇日本国憲法の成立 ◇国民主権 ◇日本の平和主義 ◇個人の尊重と憲法上の権利 ◇平等権と差別されない権利 ◇日本社会の差別の現実 ◇政治に参加する権利と人権を守るための権利 ◇これからの人権を考える ◇選挙制度とその課題 ◇国会の役割としくみ ◇私たちと政治参加 ◇経済活動とお金の役割 ◇景気の変動とその影響 ◇グローバル化と日本経済 ◇社会資本の役割と環境への取り組み ◇国家と国際社会 	<p>場</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇グローバル化と地域統合 ◇限りある資源とエネルギー <p>歴史的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇グローバル化する社会で生きる私たち ◇現代社会における文化 ◇法に基づく政治と憲法 ◇日本国憲法の制定と三つの基本原則 ◇人権思想のあゆみと日本国憲法 ◇自由に生きる権利 ◇等しく生きる権利 ◇人権の保障を確実にするために 		<ul style="list-style-type: none"> ◇ともに生きるために ◇領土・領海をめぐる問題 <p>歴史的分野</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇大日本帝国憲法と日本国憲法 ◇人権の歴史 ◇平和主義 ◇平和主義と防衛 ◇ともに生きるために ◇社会権 ◇基本的人権を守るための権利 ◇国際社会での人権 ◇民主主義とは ◇私たちと地方自治 ◇株式会社のしくみ ◇領土・領海をめぐる問題 ◇世界平和の実現に向けて

教科・種目名 社会（公民的分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
		◇国際社会を構成する国 ◇日本の領土をめぐる ◇地域統合の光と影 ◇終わらない地域紛争 ◇さまざまな価値観の中で ◇安全をおびやかすもの ◇なくてはならない食糧と水 ◇子どもと女性をめぐる ◇これからの資源・エネルギー ◇「生命の量」を守るために 歴史的分野 ◇誰もが活躍できる社会へ ◇豊かな生活を実現するために ◇伝統文化の継承と文化の創造 ◇人権の考え方と歴史 ◇憲法はこうして生まれた ◇国民の意思による政治 ◇基本的人権を尊重すること ◇差別をしない、させない ◇自由ってなんだろう ◇自ら人権を守るために ◇憲法に定められた平和主義 ◇日本の安全保障と平和主義の これから ◇民主主義ってなんだろう ◇国民の代表を選ぶ選挙 ◇循環型社会に向けて ◇国際社会を構成する国 ◇日本の領土をめぐる ◇国際社会のまとめ役 ◇地域統合の光と影 ◇世界の一員として ◇終わらない地域紛争 ◇さまざまな価値観の中で	◇領土を巡る取り組み ◇国際連合の働きとしくみ ◇現代における紛争 ◇兵器の脅威と軍縮への努力 ◇国際社会における日本の役割 ◇社会の変化と人権保障 ◇科学技術と人権 ◇日本国憲法の平和主義 ◇選挙の意義としくみ ◇国民と政治をつなぐ政党 ◇国会の地位としくみ ◇内閣のしくみと議院内閣制 ◇法を守る裁判所 ◇裁判のしくみと人権の尊重 ◇ものの流れと情報の流れ ◇企業の競争と独占の問題 ◇企業活動と景気の変動 ◇働く意味と労働者を支えるし ぐみ ◇金融のしくみ ◇環境保全の担い手としての政 府 ◇国際連合の目的とはたらき ◇世界のさまざまな文化や宗教 ◇現代の戦争と平和 ◇発展途上国の現状と多様化す る世界			

別表3

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
言語活動を充実させるための工夫	学習課題に対応した「チェック／トライ」のコーナーを設置し、説明する課題を設定している。 各章ごとの「まとめの活動」のページで思考ツールを用いて、自分の考えを整理し、説明したり、グループ活動で意見を交換した	本時の振り返りとして、学習課題と対応させた「確認！」「表現！」のコーナーが設置され、社会的事象や課題などに関わる説明や話し合いなどの表現活動が設定されている。 章の導入部分の「ウォーミング	各見開きに学習課題に対応した「確認しよう／説明しよう」を設置し、学習課題を振り返り、習得した知識を活用して言語活動を促している。 章の振り返りでは、「見方・考え方」をヒントに意見交換を行う展	各見開きに学習課題に対応した「確認／表現」のコーナーを設置し、1時間の学習を振り返る言語活動を促している。 章のまとめをしようのページでは、思考ツールを用いて整理をした後に、グループで意見交換を	アクティブに深めようのコーナーで話し合ったり、字数を示してまとめたりする展開が設けられている。	各見開きに「確認／探究」のコーナーを設置し、学習課題についてまとめたり、表現したりする活動を促している。 章末には、思考ツールを用いて整理したり、互いに意見を出し合い、見方・考え方を広げたりして、

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	りする展開が設けられている。	アップ！公民」と章末の「学習のまとめと表現」で意見交換をしたり、思考ツールを用いて整理して気づいたことを表現したりする展開が設けられている。	開が設けられている。	する展開などが設けられている。		学びを深める展開が設けられている。
現代の社会的事象を多面的、多角的に考察するための工夫	<p>各章の「導入の活動」で多面的、多角的に考察する必要性に気付かせ、章末の「ふり返ろう」「深めよう」で、思考ツールなどを用い、考察する展開になっている。</p> <p>◇T市のまちの様子から現代社会をながめてみよう/T市の新しい公園の使用ルールを考えよう</p> <p>◇ちがいのちがいのちがいのちがいを追究しよう</p> <p>◇だれを市長に選ぶ？/S市の議員になって条例を作ろう</p> <p>◇コンビニエンスストアの経営者になってみよう/コンビニエンスストアの新たなサービスを企画しよう</p> <p>◇SDGsから地球規模の課題についてとらえよう/はちみつの争い</p>	<p>「公民の窓」で本文内容から一歩進んで学びを掘り下げ、視点を変えたり、視野を広げたりすることで、多面的・多角的な見方ができるよになっている。</p> <p>◇受け継がれる京都の景観</p> <p>◇じゃんけんは公平か</p> <p>◇外国人と参政権、公務員への採用</p> <p>◇ヘイトスピーチ</p> <p>◇捜査技術の進歩と人権</p> <p>◇広がる「子ども食堂」</p> <p>◇B型肝炎訴訟</p> <p>◇コスタリカの憲法にみる平和条項</p> <p>◇過半数を尊重すること</p> <p>◇インターネットの発達と情報の偏り</p> <p>◇各国の二院制</p> <p>◇小さな政府と大きな政府</p> <p>◇中学生の人権と裁判</p> <p>◇公判前整理手続きの役割</p> <p>◇もう一つの権力分立</p> <p>◇新型コロナウイルス感染症対策と地方財政</p> <p>◇水道事業の民営化</p> <p>◇豊かさやGDP</p> <p>◇平等であること、公正であること</p> <p>◇ダム撤去でよみがえった河川環境</p> <p>◇核兵器禁止条約と日本</p> <p>◇アジア初のフェアトレードシティ</p> <p>◇核のゴミはどこへ</p>	<p>「学習の前に」で章の内容と関連する実社会を俯瞰し、章の振り返りで、表や思考ツールを用いて整理して考え、意見交換する展開になっている。</p> <p>◇暮らしのなかから憲法とのかかわりを探してみよう</p> <p>◇みんなが暮らしやすい社会をつくろう</p> <p>◇暮らしのなかから経済を探してみよう</p> <p>◇地球的課題を探してみよう</p> <p>「アクティブ公民」で現代社会の見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり他者と意見を交換したりする展開になっている。</p> <p>◇マンションの騒音問題を解決しよう</p> <p>◇民主主義のあり方を考えよう</p> <p>◇青果店の立ちのきについて考えよう</p> <p>◇裁判員として裁判の判決を考えよう</p> <p>◇自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう</p> <p>◇もしも無人島に漂着したら</p> <p>◇一人暮らしにはお金がいくらかかる？</p> <p>◇パン屋さんを企業してみよう</p> <p>◇赤字バス路線に税金を使うべきか</p> <p>◇2040年の日本の電源構成案を提案しよう</p>	<p>「明日に向かって」で身近な地域の抱える課題や将来について考え、社会参画を促すためのがかりとなる展開になっている。</p> <p>◇SDGsから社会の課題を考えよう</p> <p>◇まちのバリアフリーを探そう</p> <p>◇15歳は「子ども」？それとも「大人」？</p> <p>◇災害に強いくらしをきずく</p> <p>◇裁判員裁判シミュレーション</p> <p>◇まちづくりに参加しよう</p> <p>◇契約について考えよう</p> <p>◇職業について調べてみよう</p> <p>◇年金のしくみについてしろう</p> <p>◇SDGsから未来の社会を考えよう</p> <p>各章の「まとめと振り返り」にある「ニュースを味方・考え方から見てみよう」にて、実社会で起こった出来事を題材に、社会科で身に付けた見方・考え方を活かすことができる展開になっている。</p> <p>また、章の問いに思考ツールを用いて自分の考えを深めることができるよになっている。</p>	<p>「アクティブに深めよう」で実社会に目を向け、多面的・多角的に考察する展開になっている。</p> <p>◇グローバル化によって私たちの生活はどう変わったか、考えてみよう</p> <p>◇魅力ある「まちづくり」を考えよう</p> <p>◇立憲主義のたいせつさについて考えよう</p> <p>◇新聞を読み比べてみよう</p> <p>◇総合的な安全保障問題を考えよう</p> <p>◇家事方法の進歩は私たちの生活にどのような影響を与えたのだろうか</p> <p>◇お店を出店しよう</p> <p>◇国際平和をどう作りあげるか</p>	<p>章の導入で、身近なトピックを切り口にどのような課題があるのかをつかみ、章のまとめで、互いに意見を出し合い、見方・考え方を広げ、物事の多様性に気づいたうえで、学びを深められるよに構成している。</p> <p>「やってみよう」で小集団による話し合いやディベート、シミュレーションなどで現代の社会事象について考えることができるよになっている。</p> <p>◇新聞の社説を比べてみよう</p> <p>◇裁判員になって判決を考えよう</p> <p>◇人生をデザインしよう</p> <p>「学習を深めよう」で社会事象を多面的・多角的に考え、今日的課題について話し合ったりよりよい未来を構想したりする活動を設定している。</p> <p>◇防災・減災と情報通信技術（ICT）</p> <p>◇「ともに生きる」ためにできること</p> <p>◇世界の人権問題</p> <p>◇企業の社会貢献活動を見てみよう</p> <p>◇革新的な金融サービス</p> <p>◇拉致問題と私たち</p> <p>◇日本の領土をめぐる問題</p> <p>◇ゲーム理論から考える国際問題</p>
「よりよい社会を目指して」で持続可能な社会を形成するという観点から課題探究させるために取り上げられている事例	<p>◇持続可能な社会の形成について、第1章第1節と終章で取り上げている。</p> <p>◇「もっと知りたい」東日本大震災からの復興と防</p>	<p>◇特設ページ「持続可能な社会に向けて」（13テーマ）</p> <p>なぜ、伝統や文化をつないでいく必要があるのだろう/なぜ差別は生まれるのだろう/な</p>	<p>◇コラム「未来に向けて」（全13か所）</p> <p>情報化と防災・減災/多文化共生の取り組み/子どもと高齢者がともに過ごす/伝統文化</p>	<p>◇「明日に向かって」「アクティブティ」「公民+α」でSDGsと特に関連する箇所にはSDGsマークを付けている。</p> <p>これからの社会をどんな社会</p>	<p>◇「ミニ知識」で持続可能な社会について情報を提供している。</p> <p>ミレニウム開発目標と持続可能な開発目標/フェアトレードとマイクロクレジット/森</p>	<p>◇口絵でSDGsの17のゴールを示している。</p> <p>◇「国際社会への入口」で世界が抱えるさまざまな課題を紹介海のプラごみ/健康的な食事</p>

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	<p>災／公害のない社会へ＝水俣市を例に考える／これからの日本のエネルギーを考える</p> <p>◇終章 「よりよい社会を目指して」 近江八幡市での持続可能な社会を形成することに向けた事例</p>	<p>ぜ、新たな人権問題が起こるの だろう／なぜ、沖縄に米軍基地 が集中しているのだろう／な ぜ、メディアリテラシーは大切 なのだろう／なぜ、裁判員裁判 の制度があるのだろう／なぜ、 子どもたちを大事にするまち づくりが必要なのだろう／な ぜ、「契約」について学ぶ必要が あるのだろう／なぜ、「障がい の社会モデル」が注目されてい るのだろう／なぜ、貿易を行う のだろう／なぜ、外交の役割は 重要なのだろう／なぜ、子ども たちのためにSDGsを達成する べきなのだろう</p>	<p>を受け継ぐ／アイヌ語への思 い／ビッグデータを生かした 経営戦略／障がいがあっても 働ける場を／フィンテックで 便利になる生活／エネルギー の消費量がゼロの建物とは？ ／パレスチナ問題の解決に向 けた努力を／プラスチックご みと海洋汚染／水素エネルギ ーの可能性／エシカル消費に 取り組もう</p> <p>◇特設ページ「未来に向けて」 よりよい社会を目指して／情 報通信技術を活用したまちづ くり／伝統を受け継ぎアップ デートしていく／偏見や差別 をなくすために／多様性を認 め合う社会へ／地域の活性化 と持続可能なまちづくり／若 者の政治参加を促そう／環境 保全への取り組み／自然災害 から社会を守る社会資本の整 備／暮らしの安全を守る日本 の技術／脱炭素社会の実現に 向けて地方公共団体の挑戦／ 持続可能な社会に向けて大阪・ 関西万博／防災・減災を通じた 社会参画</p>	<p>にしたい？／SDGs から社会の 課題を考えよう／共生できる 社会を考えよう／まちのバリ アフリーを探そう／人間らし く生きるために必要なもの は？／子どもの権利条約／消 費を通じた社会への意思表示 ／日本の難民支援／日本のエ ネルギーの未来／温室効果ガ スの排出削減／SDGs から未来 の社会を考えよう</p>	<p>の恩恵と循環型社会の構築／ 地球温暖化とCO₂／京都議定書 と国益</p>	<p>で子どもの給食支援／終末時 計／救命ベンチャー企業ジッ プライン</p> <p>◇第5章第1節「持続可能な社会 を作るために」 日本が掲げるSDGs実施のため の8つの優先課題</p>
表現活動の充実への工夫や配慮	<p>「みんなでチャレンジ」でグル ープで話し合ったり、発表しあ ったりする展開が設定されている。</p>	<p>各見開きに「確認／表現」のコ ーナーがあり、自分の言葉で説明 するよう促している。 章ごとの「学習のまとめと表 現」で思考ツールを参考に自分の 意見をまとめる展開が設定され ている。</p>	<p>各見開きに「確認しよう／説明 章」のコーナーがあり、習得した 知識を活用して説明するよう促 している。 章の振り返りに「対話」のマ ークがあり、周りの人と意見交換 をする展開が設定されている。</p>	<p>各見開きに学習課題に対応し た「確認／表現」のコーナーを設 置し、1時間の学習を振り返る言 語活動を促している。 章のまとめをしようのページ では、思考ツールを用いて整理を した後に、グループで意見交換を する展開などが設けられている。</p>	<p>「アクティブに深めよう」のコ ーナーで話し合ったり、字数を示 してまとめたりする展開が設け られている。</p>	<p>各見開きに「確認／探究」のコ ーナーを設置し、学習課題につい てまとめたり、表現したりする活 動を促している。 章末には、思考ツールを用いて 整理したり、互いに意見を出し合 い、見方・考え方を広げたりして、 学びを深める展開が設けられて いる。</p>
新聞を活用している事項の内容	<p>◇P49 熊本地方裁判所の判決 ◇P59 新しい裁判の手續きにつ いて ◇P76 同性どうしの宿泊の拒否 を禁じた国の対応 ◇P86 ある日の新聞の一面 ◇P97 証人喚問</p>	<p>◇P58 免田栄さんの無罪 ◇P69 個人情報の流出 ◇P94 ある日の新聞各社のトッ プ記事 ◇イギリスのEU離脱</p>	<p>◇P57 高校生による請願 ◇P78 参院選挙公示 ◇P84 メディアリテラシーで、 2022年の参議院議員選挙の結 果の比較</p>	<p>「ニュースを見方・考え方から 見てみよう」のコーナーがあり、 新聞を活用している。 ◇P22 AIなら24時間365日 ◇P36 JR東地方35路線赤字 ◇P80 男女平等日本116位 ◇P168 消費者物価指数</p>	<p>「アクティブに深めよう」のコ ーナーで新聞を読み比べてみよ う 4社の2019年4月2日社説を読 み比べ ◇P15 サッカーW杯ゴミ拾い ◇P172 1882年9月29日時事新</p>	<p>◇P28 保育施設への苦情 ◇P38 マンションの上部撤去命 令、えん罪事件で再審決定 ◇P40 自転車事故の厳罰化 ◇P44 改正公職選挙法の成立 ◇P54 2022年参議院議員選挙の 結果を伝える新聞各紙</p>

教科・種目名 社会（公民的分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
	◇P107 えん罪 ◇P110 三権に関する記事 ◇P146 株価上昇 ◇P147 株式市況欄 ◇P150 非正規労働者 ◇P151 働き方改革関連法の成立 ◇P154 大雪による野菜価格高騰 ◇P157 世界金融危機 ◇P160 国内の景気や物価 ◇P162 円安の影響、日本の貿易赤字 ◇P192 イギリスのEU離脱、ギリシャ財政危機 ◇P201 福島第一原子力発電所の事故			◇P220 米ロ核軍縮履行停止 「情報スキルアップ」で新聞を活用 ◇P65 迷惑行為の動画、中高生のネット依存 ◇P92 新聞の読み方と伝え方を学ぼう 2022年10月4日の4社の新聞1面 ◇P76 敵基地攻撃能力の保有 ◇P88 2022年の参議院議員選挙 ◇P107 足利事件 ◇P143 野菜価格の上昇 ◇P146 株式欄 ◇P148 競争による価格の低下 ◇P149 正取引委員会の活動 ◇P165 日銀が物価目標を定める	報社説「外交論」	◇P56 取り調べの全面可視化 ◇P58 国務大臣の育児休暇取得 ◇P59 夫婦同姓は合憲、医学部入試の不正問題 ◇P67 B型肝炎訴訟の最高裁判所の判決 ◇P71 北朝鮮による日本人拉致問題（2002年） ◇P87 新聞の世論調査 ◇P101 被害者参加制度、刑事補償金 ◇P151 日本銀行の金融政策 ◇P189 1980年の北朝鮮による拉致 ◇P193 竹島は日本領 ◇P195 核兵器禁止条約への不参加 ◇P198 イギリスのEU離脱

別表4

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
教科書の使い方（学習の進め方）に関する記載	「この教科書の使い方と学び方」（マークと使い方）	「教科書の使い方」（マークと使い方）	「教科書を活用した学び方」（マークと使い方）	「教科書の構成と使い方」（マークと使い方）	「この教科書で学ぶにあたって」（使い方）	「主体的で対話的な深い学びを支える教科書の構成」「この教科書の学習のしかた」（マークと使い方）
自主学習、自由研究用に設定されている課題の内容	◇導入の活動（5箇所） 例：だれを市長に選ぶ？ ◇まとめの活動（5箇所） ◆確かめよう 例：用語確認、資料活用、練習問題 ◆ふり返ろう 例：節の問いに対するまとめ ◆深めよう 例：T市の新しい公園の使用ルールを考えよう。	◇学習のはじめに（6箇所） 例：現代の社会ってどんな社会だろう。 ◇学習のまとめと表現（6箇所） ◆節の振り返り 例：用語確認、資料活用、語句の穴埋め ◆「学習のはじめに」の振り返り 例：章の学習を行う前の自分の意見と比べてみよう。 ◆章の問いについて考えよう 例：章の問いに対するまとめ ◆未来のためにできること 例：私たちの考えや意見を未来の社会に生かすために何ができるだろうか。	◇学習の前に 例：45年前と今の社会を比べてみよう。 ◇学習を振り返ろう（5箇所） ◆節の振り返り 例：用語確認、練習問題、節の問いに対するまとめ ◆章の振り返り 例：章の問いに対するまとめ ◆探究活動への準備 例：探究学習へ向けてのテーマを考える	◇学習のはじめに（7箇所） 例：地域の公園づくりに参加しよう ◇まとめと振り返り（7箇所） ◆語句の意味を確認しよう 例：用語確認、練習問題 ◆ニュースの読み取り（見方・考え方） 例：新聞の見出しから読み取れることを書きだそう。 ◆章の問いに答えよう 例：章の問いに対するまとめ ◆章の学習を振り返ろう	◇やってみよう（21箇所） 例：外国から日本へミサイルが飛んできそうとき、わが国は何ができるか調べてみよう。 ◇学習のまとめと発展（7箇所） ◆学習のまとめ 例：用語確認 ◆学習の発展 例：テーマについてのレポート（複数ある課題を選び、400字でまとめる）	◇章の導入（入り口）（5箇所） 例：日本の憲法のどの権利（条文）に関係するか考えよう。 ◇これから・学習のまとめ（5箇所） ◆各章のごとのこれから 例：章で学んだことをいかして、日本国憲法のこれからの課題について議論しよう。（権利と課題のランキング作成など） ◆学習のまとめ 例：用語確認、資料活用、練習問題

教科・種目名 社会（公民的分野） 調査研究事項

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
資料の収集・活用・整理の仕方など調べ学習の方法についての記載	◇終章 ◆「よりよい社会を目指して」で、課題の設定について、資料の収集と読み取りについて、スライドやレポートの作成について（例など）の記載がある。	◇公民にアプローチ ◆「メディア活用とプレゼンテーション」で、情報の収集、記録の取り方、整理の仕方、発表の仕方についての記載がある。 ◇終章 ◆「私たちが未来の社会を築く」で、「私の提案」（作品）を作成する際の作成ナビの記載がある。	◇5部課題探究学習 ◆「課題研究と私たち」で、課題の設定、資料の収集と読み取り、考察、レポートの書き方についての記載がある。	◇私たちの課題 ◆「持続可能な社会をめざして」で、テーマの設定、資料の収集と読み取り、考察と構想、まとめと評価（レポートの書き方）についての記載がある。 ◇「情報スキルアップ」（2箇所）で新聞の読み方などの記載がある。	◇課題の探究 ◆「レポートと卒業論文を作ろう」で、レポートの原稿の内容、調べ方、プレゼンテーションについての記載がある。 ◆「レポートと卒業論文を作ろう」で、卒業論文の課題の設定、調べ方、まとめ方についての記載がある。	◇社会科のまとめ（よりよい社会をめざして） ◆「テーマを決めてレポートを作成しよう」でテーマの設定、探究活動の計画、資料の収集・読み取り・整理・まとめ方、プレゼン、レポートのまとめ方についての記載がある。
体験的な学習活動の例、書き込み等作業的なページの内容	◇スキルアップ（9箇所） 例：広告について考えよう。 ◇18歳へのステップ（3箇所） 例：消費生活をもとに契約について考えよう。	◇公民の技（9箇所） 例：死刑制度について考えよう。	◇技能をみがく（6箇所） 例：裁判を傍聴してみよう。	◇明日に向かって（10箇所） 例：裁判員シミュレーション ◇チャレンジ公民（5箇所） 例：自分たちのまちの首長を選ぼう。	◇アクティブに深めよう（9箇所） 例：総合的な安全保障について考えよう。	◇やってみよう（11箇所） 例：裁判員になって判決を考えよう。
「生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことを促す」工夫として掲載されている教材の数と内容	◇みんなでチャレンジ（31箇所） 例：インクルーシブな社会を実現するために何に気をつけなくてはいけないか、右のイラストを参考にグループで話し合おう。	◇THINK!（19箇所） 例：今後も国債の発行残高が増え続けた場合、どのようなことが心配されるだろうか。意見を交換し合ってみよう。 ◇特設ページ・TRY!（13箇所） 例：「ハンセン病回復者の声」を読んで、どのような感想を持ったかクラスで意見を交換し合ってみよう。	◇アクティブ公民（コラム型33箇所、特設型10箇所） 例：マンションの騒音問題を解決しよう。	◇アクティビティ（41箇所） 例：なぜこのようなきまりがあるのかを、グループで話し合おう。	◇やってみよう（21箇所） 例：インターネットやスマートフォンを利用する場合、どんなことに注意しながら利用すべきか話し合ってみよう。 ◇アクティブに深めよう（9箇所） 例：立憲主義の大切さについて考えよう。	◇TRY!（16箇所） 例：なぜ差別というものが生まれるか、その原因を話し合ってみよう。 ◇資料活用（55箇所） 例：世界の国旗を調べて、その意味や背景を発表してみよう。 ◇見方・考え方（17箇所） 例：公共の福祉を重視するか、個人の自由を尊重するか、考えてみましょう。

別表5

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
「発展的な内容を取り扱う」トピックスなどの記載の数と内容	◇もっと知りたい（33箇所） 例：死票の持つ意味	◇公民の窓（39箇所） 例：冤罪と再審	◇未来に向けて（特設13箇所、コラム13箇所） 例：情報通信技術を活用したまちづくり	◇公民+α（20箇所） 例：万博からみる社会の課題	◇もっと知りたい（21箇所） 例：裁判員制度	◇学習を深めよう（42箇所） 例：防災・減災と通信技術（ICT）
政治や経済の学習等で取り上げられている「京都府」の事例	政治・経済 ◇P77 舟屋（京都府） 他の学習 ◇P23 東九条マダン（京都市）	政治・経済 ◇P141 「ツーリストシップ」の普及事業（京都府） 他の学習 ◇巻頭1 競技かるたを通じた国際交流（京都市） ◇P24 茶道を学ぶ留学生（京都市）	政治・経済 ◇P115 名神高速道路を横切る東海道新幹線のテスト車両（京都府）	政治・経済 ◇P58 夜間中学（京都市） ◇P70 京都市の景観とまちづくり（京都市） ◇P101 文化庁の京都移転（京都市）	無	政治・経済 ◇P155 電柱の地中化計画（京都市） 他の学習 ◇P215 祇園祭（京都市）

教科・種目名 社会（公民的分野） 調査研究事項

		◇P29 築100年ほどの町屋を改装して開業したホテル（京都市） ◇P29 景観に配慮した外観で建てられたコンビニエンスストア（京都市）				
--	--	---	--	--	--	--

別表6

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
地理的分野と特に関連づけた記載のある内容	「分野関連マーク」(32箇所)	「関連」(33箇所)	「地理・歴史を振り返る(地理)」(22箇所)	「連携コーナー」(16箇所)	無	「関連マーク」(2箇所)
歴史的分野と特に関連づけた記載のある内容	「分野関連マーク」(33箇所)	「関連」(24箇所)	「地理・歴史を振り返る(歴史)」(34箇所)	「連携コーナー」(28箇所)	無	「関連マーク」(8箇所)
道徳と関連のある内容	伝統文化 (P20)	無	無	無	無	無
人権教育と関連のある内容、男女共同参画社会の追究に対する配慮	◇多文化共生のまちづくり (P23) ◇ちがいのちがいのち (P38～39) ◇ハンセン病と人権 (P49) ◇北海道白老町に造られる国立アイヌ民族博物館 (P51) ◇インクルージョンについて考えよう (P53) ◇私の選ぶ自由は (P55) ◇働き方改革 (P57) ◇外国人参政権 (P58) ◇臓器提供をめぐる自己決定 (P65) ◇オーストラリアの先住民族の権利保障 (P69) ◇先住民族としてのアイヌ民族 (P74～75) ◇だれもが暮らしやすい共生社会に (P76) ◇中国の経済成長と現在 (P189) ◇パレスチナ問題と中東和平 (P214) ◇「沖縄復帰50周年」と、日本と世界の平和 (P215)	◇共に生きる社会を目指す人たち (P52～53) ◇なぜ、差別は生まれるのだろうか (P54～55) ◇ネット社会で人権を守るために (P69) ◇子どもと女性をめぐって (P218～219)	◇さまざまな文化の違い (P10) ◇夫婦別姓の議論 (P46) ◇アイヌ語への思い (P48) ◇偏見や差別をなくすために (P49～50) ◇生活保護を巡る現状 (P52) ◇防犯カメラの設置について (P55) ◇有名人の個人情報を無断で公開することについて (P55) ◇障害があっても働ける場を (P138) ◇マララさんが訴える子どもたちの「教育を受ける権利」 (P196)	◇まちのバリアフリーを探そう (P50～51) ◇ハンセン病 (P57) ◇ビッグデータと防犯カメラ (P59) ◇「ネット社会」とつき合う方法 (P60～61) ◇遺伝子情報と人権 (P63) ◇児童(子ども)の権利条約 (P65)	◇権利の平等に関する問題 (P78) ◇新しい権利 (P79) ◇「子供の兵士」(P185) ◇近隣諸国の人権問題 (P186～187) ◇日本人拉致問題 (P190～191)	◇バリアフリーとユニバーサルデザイン (P59) ◇「ともに生きる」ためにできること (P60～61) ◇世界の人権問題 (P70～71) ◇北朝鮮による日本人拉致問題 (P183) ◇拉致問題と私たち (P184～185)

教科・種目名 社会（公民的分野） 調査研究事項

別表7

調査項目	発行者名					
	2 東書	17 教出	46 帝国	116 日文	225 自由社	227 育鵬社
資料（写真、統計やグラフ）の掲載方法等の配慮事項	資料に付した「図番号」を本文にも付している。	資料に付した「図番号」を本文にも付している。	資料に付した「図番号」を本文にも付している。	資料に付した「図番号」を本文にも付している。	資料に付した「図番号」を本文にも付している。	資料に付した「図番号」を本文にも付している。
ユニバーサルデザイン化に向けた工夫	カラーユニバーサルデザインユニバーサルデザインフォント	カラーユニバーサルデザインユニバーサルデザインフォント	カラーユニバーサルデザインユニバーサルデザインフォント	カラーユニバーサルデザインユニバーサルデザインフォント	カラーユニバーサルデザインユニバーサルデザインフォント	カラーユニバーサルデザインユニバーサルデザインフォント
資料（法令、文献、絵図、絵、肖像画等）の掲載方法等の配慮事項	巻末の法令は日本国憲法のみ。その他の諸法令は二次元コードでアクセスしデジタルコンテンツで確認できる。	巻末の法令は日本国憲法の外に 32 の諸法令の一部抜粋を掲載。二次元コードでアクセスすると全文をデジタルコンテンツで確認できる。	巻末の法令は日本国憲法の外に 39 の諸法令の一部抜粋を掲載。二次元コードには教科書に掲載した法令の条文やそのリンク先を収録。	巻末の法令は日本国憲法の外に、27 の諸法令の一部抜粋を掲載。	巻末の法令は日本国憲法の外に 40 の諸法令の一部抜粋を掲載。	巻末の法令は日本国憲法の外に 31 の諸法令の一部抜粋を掲載。
注記の内容が分かりやすく表現されている	番号を付し、同ページに配置	番号を付し、同ページに配置	番号を付し、同ページに配置	番号を付し、同ページに配置	番号を付し、同ページに配置	番号を付し、同ページに配置
索引（出来事や重要語句、人物等）の取扱い事項	重要語句（出来事や人物含む）	重要語句（出来事を含む）	重要語句（出来事や人物含む）	重要語句（出来事や人物含む）	重要語句（出来事を含む）	重要語句（出来事や人物含む）
用語解説の数と掲載方法等の配慮事項	教科書には用語解説のある用語一覧を示し、二次元コードから「社会科用語マスター」にアクセスして閲覧 巻末…102項目	◆印を付け、側注で掲載するものと巻末にまとめて掲載するものがある ◆…24項目 巻末…47項目	「解説」マークを付け、側注で掲載するもの他に巻末の索引にある紫文字のものは、二次元コードコンテンツで用語解説を掲載。 「解説」…35項目 巻末…116項目	巻末にまとめて掲載、「用語解説」と「類似用語集」 「用語解説」…47項目 「類似用語集」…38項目	注記に含まれる	☞のマークのコーナーで学習内容に関連した情報が紹介されるが、用語解説に近い内容のものもある。巻末にまとめて掲載。 巻末…56項目
デジタル教科書の有無（指導者用、学習者用）	指導者用／あり 学習者用／あり	指導者用／あり 学習者用／あり	指導者用／あり 学習者用／あり	指導者用／あり 学習者用／あり	指導者用／なし 学習者用／なし	指導者用／あり 学習者用／あり
二次元コード等によるデジタル教材の配置	動画、シミュレーション、ワークシート、思考ツール	語句クイズ、まなびリンクに動画、資料、問題あり	ワークシート、図解アニメーション、動画、思考ツール、リンク集	スライドショー、動画、関連資料、ポートフォリオ	なし	目次のページにある二次元コードを読み取ると育鵬社のウェブサイトへ。リンク集と動画。